

官報 號外

明治三十九年三月七日

水曜日

印刷局

○第二十二回衆議院議事速記録第十二號

明治三十九年三月六日(火曜日)午後一時八分開議

議事日程 第十一號 明治三十九年三月六日

午後一時開議

第一 (第一號)明治三十九年度歳入歳出總豫算追加案

第二 産業組合法中改正法律案(政府提出) 第一讀會(續)(委員長報告)

第三 工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料戻稅法案(政府提出) 第一讀會

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第五 廢兵院法案(政府提出) 第一讀會

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第七 軍人恩給法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第九 關稅定率法改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第十一 醬油稅則中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會(午後三時)

第十三 鐵道國有法案(政府提出) 第一讀會(午後三時後)

第十四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會(午後三時後)

第十五 京釜鐵道買收法案(政府提出) 第一讀會(午後三時後)

第十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會(午後三時後)

第十七 郡制廢止法律案(政府提出) 第一讀會(午後三時後)

第十八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會(午後三時後)

第十九 郡制廢止法律案(尾見五郎提出) 第一讀會

第二十 新聞紙條例中改正法律案(荒川五郎外一名提出) 第一讀會

第二十一 蠶病豫防法中改正法律案(嶺名信平外十八名提出) 第一讀會

第二十二 裁判所構成法中改正法律案(加瀬禮逸外四名提出) 第一讀會

第二十三 辯護士法中改正法律案(加瀬禮逸外四名提出) 第一讀會

第二十四 治水ニ關スル建議案(佐々木正藏外十三名提出) (委員長報告)

第二十五 利根川高水工事急施ニ關スル建議案(吉植一(委員長報告)

第二十六 高等染織專門學校増設ニ關スル建議案(長崎登外六名提出)
第二十七 取引所賠償責任準備積立金ニ關スル建議案(森茂生外三名提出)
第二十八 日韓兩國ノ關稅ニ關スル建議案(早速整爾外五名提出)
第二十九 日清銀行設立ニ關スル建議案(根津嘉一郎外二名提出)
○議長(杉田定一君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

鐵道國有法案

京釜鐵道買收法案

郡制廢止法律案

市制改正法律案

町村制改正法律案

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

債務者ニ代位スル債權者ノ登記申請ニ關スル法律案

提出者 高橋 安爾 宮古啓三郎 立川 雲平

一荻野芳藏君ヨリ福井市ニ於ケル生絲羽二重商同盟廢業ニ關シ楠目玄君ヨリ東京市街鐵道株式會社外二會社乘車券値上ニ關シ質問主意書ヲ提出セラレタリ

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

福井市ニ於ケル生絲羽二重商ノ同盟廢業ニ關スル質問

右成規ニ據リ提出候也

明治三十九年三月五日

提出者 荻野 芳藏 賛成者 奥野 市次郎 外三十四名

一政府ハ福井縣福井市ニ於テ稅務署官吏トノ衝突ニ依リ生絲羽二重商ノ同盟廢業ニ對シ如何ナル方策ヲ取ラントスル乎

右質問ス政府ハ至急答辯アラントラ望ム

東京市街鐵道株式會社外二會社乘車券値上ノ件ニ付質問

右成規ニ據リ提出候也

明治三十九年三月六日

提出者 楠目 玄 賛成者 根本 正 外三十九名

東京市街鐵道株式會社外二會社乘車券値上ノ件ニ付質問趣意書
東京市街鐵道株式會社外二會社ハ合意ヲ以テ現今ノ乘車券三錢均一ヲ五錢均一ニ引上ケントス然ルニ該會社ノ敷設セル電氣鐵道ナルモノハ東京市民ノ交通機關ニシテ又延テ日本全國國民ノ利害ノ係ル處然ルニ同會社等ハ之ト相競争スルモノナキヲ奇貨トシ猥ニ之カ乘車賃錢ノ引上ケヲナサントスルハ公共ノ利害ヲ顧ミシテ敢テ

自己ノ利益ヲ壟斷セントスルモノナリ當初政府カ之ヲ許可セシ趣旨ニ反スルモノニア
ラサルカ政府ハ之ニ對シ如何ナル處置ヲナサントスルカ速ニ答辯ヲ望ム

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

一委員長及理事左ノ通當選セラレタリ
議員法中改正法律案

委員長 藤 金 作君 理事 松田 吉三郎君
二年兵役ニ關スル建議案

委員長 征矢野 半彌君 理事 濱口 權君
萬國博覽會開設ニ關スル建議案

委員長 渡邊 修君 理事 森本 駿君
議長(杉田定一君) 是ヨリ會議ヲ開キマス——濱田國松君

(濱田國松君登壇)

○濱田國松君 私ハ伊勢神宮ノ經費、竝ニ大祓禊布ニ關シマシテ、内務大臣ニ質問
ヲ提出致シタルヲ今、今日ノ我國ノ狀態、戰後ノ大經營ヲ必要トスル時期ニ屬シテ居
リマスノデ、是ノ如キ時期ニ於キマシテ、此種ノ質問ヲ提出致シマスルコト云フコトハ、或
ハ時期ノ上ニ於キマシテ、穩當ナラヌカノ嫌ガアルノデゴザイマスガ、本員ノ信ズルコトニ據
リマスル、伊勢神宮ハ本員ノ申スマデモゴザイマス、皇祖ヲ奉齋スル場所デゴザイマス
ル、從テ金匱無缺ノ我國體モ、世界ニ卓絶セル我國ノ國粹モ、皆茲ニ淵源ヲスルノデ
ゴザイマスカラ、伊勢神宮ノ奉仕其道ヲ得ルト得ナイトハ、實際我國ノ面目ト、我國民
ノ元氣關係スルコト甚大ナルモノガアルノデゴザイマス、ソレ故ニ私ハ今日ノ時期ヲモ憚
リマセズ、此質問ヲ提出致シマシタルヲ次第デゴザイマス、熱誠アル諸君ハ、私ニ對シマ
シテ暫時ノ間演說ノ時間ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス(簡單ニ願ヒマス)ト呼フ者
アリ(質問ノ要點ハ第一ガ伊勢神宮ノ經費ハ五萬圓デアルガ、政府ハ此五萬圓ノ
經費ヲ增加スルノ必要ヲ見ナイカト云フノガ、第一デゴザイマス、第二ハ明治三十三年
勅令第三百七十四號ニ據テ、設立セラレタル神部署ガ、伊勢神宮ノ大祓禊一定
ノ價格ヲ附シマシテ、曆本ト共ニ是ヲ私設財團デゴザイマス、神宮奉齋會ト云フモノヲ
シテ、頒布セシメツ、アルノデゴザイマスガ、是ハ神宮ノ尊嚴ヲ傷ヒ、延イテ我國體ヲ潰ス
ニ近イ行爲アルノデゴザイマス、是ニ依テ政府ノ見所ヲ質問致シタイノデゴザイマス、
第一ノ方カラ申述ベマスガ、神宮ノ經費ハ年來五萬圓ノ金額ヲ以テ、經營サレテ居
ルノデゴザイマスガ、神宮ノ内情ヲ取調ヲ致シマスル、第一ニ此奉仕ノ道ニ於テ、最も必
要デ嚴格ヲ要シマスルコトノ神宮ノ祭典ト云フモノガ、經費不足ノタメニ古式ノ如クニ是
ヲ實行スルコトガ出來ナイト云フコトニナリテ居ルノデ、第二ニハ神宮ニハ收入金ガアル
ノデゴザイマスガ、國庫ガ神宮ノ經費ヲ充ツルコトガ少ナイガタメニ、此多額ノ神宮ノ收
入金ト申シマスルモノガ、其性質ニ於テハ當然國庫ノ收入ニ歸セナケレバナラヌノデゴザイ
マスケレドモ、然ル場合ニ參リマセズシテ、分配金若クハ恩賜金杯ノ名義ヲ以テ、此神宮
職員ノ間ニ分取リラセラル、ト云フ實際ノ狀態アルノデゴザイマス、是モ亦國庫カラ此
神宮ノ經費ヲ支出スル額ガ少ナイガタメニ、餘儀ナク此神宮ノ巨万ノ收入金ト云フモノ
ガ、正當ノ取扱ヲサレズシテ、曖昧ノ裡ニ此神宮職員ノ間ニ、分配サレルヤウニナルノデア
ヲト信ズルノデアリマス、ソレカラ第三ニハ此甚ダ申述ブルコトモ憚リヤウナ次第デゴザイ
マスガ、神宮ニハ此神域内ニ神樂ヲ奉奏スル場所ガアル、然ルニ神宮ニ於キマシテハ、國
庫ヨリ受タルコトノ經費ガ不足ナルガタメニ、此神樂料ト云フモノヲ多額ニ收入シテ、
經營スル必要ガアルモノト見エマシテ、神樂ノ周旋人ニ收入金ノ幾割ヲ手數料トシテ交

付スルコト云フヤウナ、宛モ小商人ガ物ヲ賣ルト同様ナル方法ニ依リマシテ、成ルベク其神
樂料ノ多クヲ收入セントスルコトコロノ、手段ヲ執テ居ルノデゴザイマス、是等モ即チ
經費ノ不足カラ起ルコトノ問題デゴザイマス、神宮ノ威嚴ニ關係スルコトコロガ最も甚
シイモノデゴザイマス、經常ノ經費ノ不足ト云フコトニ付イテハ、此三ツノ事實デゴザイマス
ガ、尙第四ニ神宮ノ防火ノ設備ガ、頗ル不完全ニ相成テ居ルノデゴザイマス、諸君モ御
記憶ニナリテ居リマセウガ、數年以前ニ於キマシテ、神宮ノ内宮ニ御炎上ノ變事ガアル
ノデゴザイマス、其前後ニ於キマシテ一般ノ人々ガ、此神宮ノ防火ノ設備ト云フコトガ、
頗ル不完全アルカラ、成ルベク其設備ヲ緊要トスルコト云フコトヲ、喋々内務省當局
者及其關係官廳ニ對シテ、請求致シタルノデゴザイマスガ、内務省始モ何レモ關係ノ
官廳デハ、經費ガ不足アルコト云フコトヲ口實トシテ、防火ノ設備ト云フモノヲ、不完
全ニ放任致シテ置キマシテ、ソレガタメニ數年以前ニ於キマシテ、此炎上ト云フヤウナ、
御變事ガアルヤウナ次第デゴザイマス、此事ヲ内務省當局者ニ迫ルト、矢張經費ガ不足
アルコト云フヤウナコトヲ言フノデゴザイマス、ソレデ私ノ考ハ、内務省當局者ガ何ガ故ニ經
費ノ不足ト云フコトヲ、常ニ口實トシテ經常費ノ増加ヲ計ラヌカ、又臨時費ヲ支出シテ
神宮ノ森嚴ヲ維持スル防火ノ設備ヲ完全ニセヌカ、甚ダ不思議ニ堪ヘヌノデゴザイマス、
ソレ故ニ題目ニ掲ゲタル通、神宮ノ經費ヲ増加スル必要ヲ見ナイカト云フ質問ヲ致シ
イノデゴザイマス、第二ニハ此内務省ガ神部署ト云フ役所ヲ建テマシテ、是ハ勅令ニ據
テ設置セラレタルノデゴザイマス、神部署ノ官制ニ據リマスル、伊勢神宮ノ御先即チ大祓
禊ト云フコトニ規定サレテ居ルノデゴザイマス、然ルニ此勅令ガ實際ニ行ハレテ居ルカ、
ドウカト調ベマスル、表面ハ神部署ニ依テ頒布ヲ掌ルコトニナリテ居リマスガ、實際ハサ
ウナイノデゴザイマス、一ツノ財團デゴザイマス——敬神團體デゴザイマス、神宮奉齋
會ト云フ團體ニ請負サセテ、サウシテ全國ニ向テ神宮ノ大祓禊、サウシテ曆ヲ頒布サ
ルコトニナリテ居リマス、是ダケノ事實デゴザイマスレバ、別段三神宮ノ尊嚴ヲ傷ブト云フコト
ニハナラヌノデゴザイマスガ、是ニ付イテ大ニ都合ナルコトガアルノデゴザイマス、第一ハ
此伊勢神宮ノ御尊號ヲ記シテアリマス御先デゴザイマス此御先ハ御承知ノ如クニ、所
謂御神體ノ影トモ見ルト云フヤウナ神聖ナモノデゴザイマス、政府ガ神部署ヲ置イテ、
是ヲ全國ニ頒布セシムルコト云フコトハ、少クトモ皇祖ヲ崇敬スルコト云フヤウナ思想ヲ、
國民ノ頭ニ結付ケルコト云フコトヲ目的トシタルノデ、其結果ニ依テ國體ヲ維持トカ、或ハ
國家ノ精粹ト云フモノヲ、維持スルコトヲ目的トシタルノデゴザイマス、故ニ其取扱ハ頗
ル慎重ニシナケレバナラヌモノデアルニモ拘ハラズ、此大祓禊ト云フモノニ價ヲ附シテ、宛
商人ガ物ヲ賣ルニ、定價ヲ附ケルガ如クニ、神宮ノ大祓禊ニ何錢何厘デナケレバ賣ラヌト
云フ定價ヲ附ケテ、頒布ヲサセテ居ルノデゴザイマス、是ハ大祓禊布ノ大目的ニ副ハナ
イトコロノ不慎重ナル手段デゴザイマス、内務省ガ神部署ヲ監督スル責任アルニモ拘
ハラズ、是ノ如キ大失態ヲ看過シテ放任スルコト云フノハ、何ノ見所アデ放任致シテ居
ルノデアリマセウカ甚ダ不可思議ニ堪ヘナイノデアリマス、是ガ本員ノ質問スル理由ノ第
一デゴザイマス、質問ノ要點ハ斯様デゴザイマスガ、其事ガ甚ダ事態ハ小ニ似テ其實ハ
小デナイノデゴザイマス、内務省當局者ハ親切ナル且、明快ナル答辯ヲ與ヘラレンコトヲ
希望致シマス

(内務大臣原敬君登壇)

○内務大臣(原敬君) 唯今濱田君ノ御質問ニ答辯致シマス、政府ノ今日マデ考ヘマ
スルコトコロニ依レバ、伊勢神宮ニ關スル國庫ノ支出ヲ、目下増加スルノ必要ヲ認メマセ

又此伊勢神宮ノ大庭ハ一定ノ價格ヲ附シテ、全國ニ頒布シテ居ルノハ、大廟ノ尊嚴ヲ損シ、國體ニ害アリハシナカト云フ御質問デゴザイマスガ、是ハ數年來是ノ如クヤリ來テ居リマシテ、又必シモ大庭ハ一定ノ價格ニ依テ賣買セラレテ居ル如キモノデハアリマセズ、成程多少ノ初穂ヲ供ヘマスルカ賣買同様に見テ居ルカ知レマセヌガ、ソレハ事實上全ク異テ居ルノデアリマス、故ニ政府ニ於テハ之ヲ決シテ不都合ナリト今日考ヘテ居リマセヌ、是デ質問ノ二點ニ對シテ答辯ヲ致シテ積リテゴザイマス

(荻野芳藏君登壇)

○荻野芳藏君 本員ハ福井縣福井市ニ於キマシテ、生絲業又羽二重商人ガ、同盟廣業ヲ致シタル事柄ニ付キマシテ、政府ニ對シ質問ヲ提出致シタノデアリマス、此質問ニ付キマシテ、簡單ニ其提出ノ理由ヲ敷演致シタイト存ジマス、此事實ハ一昨昨日、即チ去ル三日ノ日ニ於キマシテ、豫テ諸君ノ御承知デゴザイマス、トコロノ輸出重要品ノ羽二重、其羽二重ノ大部分ヲ生産致シタルトコロノ福井市ニ於キマシテ三日ノ日ニ此等ノ羽二重ノ原料ヲ供給シタルトコロノ生絲商人、又其羽二重販賣ノ取次ヲ致シマス、此等ガ總テ同盟廣業ヲ致シタル事柄ニ付キマシテ、福井市ニ店ヲ出シテ居リマス、トコロノ羽二重ノ外國人ノ羽二重商人モ亦此事ニ付イテ利害ノ關係ハナクデアリマス、ソレデ三日ノ日ハ午前ノ十時頃カラ段々稅務署ニ向テ廣業店ヲ續々持テ參リマシテ、三日ノ午後、又四日ノ日ニナリマシテ、福井市ハ是マデ羽二重販賣ニ付キマシテ、ナカク、販賣居リマス、町ガ、マルデ休業致シタルデアリマス、カシテ、頗ル寂シクナリマシテ、皆暖簾看板ヲ外シテ戸ヲ閉メシマタト云フヤウナ事柄デ、之ガ又指ヘタルトコロノ製品ヲ以テ往キマス、場所ガ無クナタノデアリマス、故ニ此機屋モ、隨テ此影響ヲ受ケマシテ、自然機屋ヲ休業シタルト云フニ立至ラントシタルデアリマス、ソレカラ又機屋ニ居リマス、一萬カラノ職工ガ、機屋ノ休ムト云フ事カラ、此等ノ職工ハ同盟ヲ致シカケマシテ、段々此等ノ中ニモイロ／＼集リテ致シテ、福井市ノ側ニハ足羽山ト云フ山ガアリマス、其方ニ一萬人バカリ集リタルト云フヤウナ準備計畫ヲ致シテ居ルト云フコト、是ハ四日ノ事實デゴザイマス、ソレカラ又此影響ハ直チニ輸出ノ商品デゴザイマス、外ニ影響ヲ與ヘタルデアリマス、横濱ノ商館ハソレ／＼取引先ノ或ハ亞米利加ナリ、或ハ獨逸ナリ、又佛蘭西ナリ、ソレカラ英吉利ナリ、或ハ濠洲ナリ印度方面ニ向ヒマシテ、其契約ヲ致シテ居リマス、トコロノ羽二重ニ付イテ、取引ノ延期ヲ申込ミ、又ハ中止ヲ申込ミ、ト云フヤウナ電報ヲ打ツ者モアルヤウデゴザイマス、ソレカラ又福井市デハ斯ウ云フ騷動デアリマス、商業會議所ニ於テハ夜分ニ會議ヲ開クト、不穩ノ舉動ニ依リマシテ、貸出ノ中止ヲスル、ト云フヤウナコト、如キコトカラシテ、不穩ノ舉動ニ依リマシテ、貸出ノ中止ヲスル、ト云フヤウナコト、如キコトヨリ四日ニ至リマス、昨日ノコトハ知リマセヌガ、三日ヨリ四日ニ至ル實況ハ、是ノ如クマル／＼大ナル雨ガ來ヤウナト云フヤウナ風デ、甚ダ人心ガ騷然トシタ有様デゴザイマス、是ノ如キ事柄ハ何ノメニ斯ウ云フコトガ出來タカト申シマス、其原因ハ斯ウ云フコトデア、少シク前カラ申上ゲタルト云フ、何處ノ地方ニモ往々耳ニスルトコロデゴザイマスガ、彼ノ非常特別稅ト云フモノガ出マシテ、戰爭ノ爲ニ過重ナル國民ノ負擔ニ此負擔ハ是ハ固ヨリ甘シク戰爭中ハ受ケマシテ、又此義務ノ上ニ付キマシテハ、國民ハ喜ンデト云フコトデアリマセヌガ、十分此事ニ付キマシテハイロ／＼苛酷ナル收稅官吏ノ取

扱等ニモ忍ビテ應ジテ居タルデアリマス、然ルニ此事柄ハ段々收稅官吏ノ方デ増長致シマシテ、近頃デハ甚ダ不穩ナ事柄ヲ往々致スヤウナ事實ガアルデアリマス、例ヘバ此商店ノ検査ヲスル、ト云フコトニ付キマシテハ、日曜明ケノ即チ月曜日ナドノ最モ取引ノ頻繁ナルトキ、又ハ節季ノ日、若クハ其節季ノ翌日ト云フヤウナ、商人ノ甚ダ苦シキ煩雜ナルトキヲ見込シテ、殊更ニ往クト云フヤウナコトガアル、或ハ又稅務署ト衝突ヲ致ストコロノ結果ハ、直クニ他ノ事柄ヲ取ラレト云フヤウナ事柄デ、度々此稅務官吏ト衝突ヲ耳ニスルコトデア、ト云フヤウナ事柄デ、ソコデ豫テ稅務署ト云フモノニ對シテハ、營業者トノ衝突ガアツタノデアリマス、併シ是ハ何時カ間違ガ起ラネバ宜イカト云フコトハ、讀者ハ憂ヘテ居タルトコロデアリマス、果シテ近イトコロノ原因ガアリマシテ、爆發シタルデアリマス、其近因ハ何デア、カト云フコト、此徵稅ノ方法ニ付キマシテ、届出ヲ致シタル上ニ於キマシテ、是マデ羽二重及生絲業者ガ、仲買業トシテ居出ヲシ、又仲買業トシテ課稅ノ手續ヲ致シテ居リマシテ、所ガ此度ノ届出ニ於キマシテ、稅務署ハ、福井ノ稅務署ハ、總テ此仲買及仲立業者ニ對シテ、販賣業ト云フコトニ認定ヲ致シタルデアリマス、テ元來此生絲業アルトコロノ羽二重業アルトコロノハ、金高ハ頗ル上リマス、ケレドモ、其手續料ト云フモノハ甚ダ少ナイモノデア、然ルニ之ニ對シテ是マデ此仲買業仲立業トシテノモノガ、販賣業者ト云フコトニ直グニ致シタルデアリマス、此仲買業者ハ、五千圓ノ納稅ヲスル者ガ、俄ニ其五倍五十圓トナリ、又一千圓ノ納稅ヲシテ居ル者ハ、五千圓ノ納稅ヲセバナラヌト云フコトニナタノデアリマス、羽二重一本ノ口錢ト云フモノハ、手續料ト云フモノハ一本六錢位ノモノデアリマス、輸出羽二重ノ調查資料ト云フ農商務省ノ商工局ノ調べモノヲ出シテ居リマスガ、之ニ據リマシテモ、一ノハ一本三錢ノ手續料デアリマス、サウシテ其最モ上ノモノデ百分ノ一、先デ六錢カラ十錢ト云フコトニナタテ居ル、大抵一般ハ三錢乃至四錢五厘、六錢位ガ羽二重一本ニ對スル、トコロノ手續料デア、然ルニ之ニ對シテ、今度稅務署ガ命メタルトコロニ依リマス、丁度一本三錢程ノ稅ヲ取ラレト云フコトニナルデアリマス、三錢ノ口錢ヲ取テ、三錢ノ稅ヲ取ラレ、又好ク見マシテモ、六錢ノ利益ガアル、其六錢ノ利益ノ中カラ、三錢ヲ引カレト云フコトニナル、羽二重屋又生絲屋ハ其口錢ヲ取リマシテ、總テ此各種ノ營業上ノ費用、又ハ自己ノ生活費ニ充當スルデアリマス、然ルニ先デ稅トシテ是デケノモノガ頭デ引カレト云フヤウナコトニナリマス、全ク此羽二重商人及生絲商人ト云フモノガ、商賣ヲスルコトガ出來ナクナルデア、斯ウ云フコトカラシテ廣業スルト云フモノハ已マ得ザルニ出タルデアリマス、諸君モ御承知ノ通、物品ノ販賣業ト云フモノハ、商品ヲ仕入レテ、之ヲ販賣シテ利益ヲ取ルコトヲ云フガ、物品ノ販賣業アル、又仲立業仲買業ト申シマス、他人ノ商品ヲバ、自己ノ名義ニテ之ヲ販賣シテ、即チ其手續料トシテハ報償ヲ取ルコトヲ云フコトガ、又或ハ他人ノ問ニ立チマシテ、サウシテ其手續料若クハ報償ヲ取ルコトヲ云フコトガ、仲立業、仲買業ノ商賣ノ本旨デア、ソレデア、サウ云フ風デ、稅率ガ極デ居ル、又此仲立業、仲買業ノ方ハ收益ノ千分ノ十五トカ、何ト云フ風ニ、是ハ極デ居ルノデアリマス、即チ收益ヲ標準トシテ稅ヲ割出スト云フ風ニナタテ居リマス、所ガ今此仲買仲立業ヲ、物品販賣業トシテ稅ヲ割出スト云フ風マシタルハ、福井ニ於ケル稅務署官吏ノ暴狀ト云フコトハ、是デケ申シマシテ十分分テ居ルコトデア、ラウト思ヒマス、是ノ如キ事ハ到底出來ヌコトデア、ドウカ從前ノ通ニシテ貴ヒタイト云フコトデ、度々稅務署ト、ソレカラ營業者トノ間ニ交渉ヲ重ネタルデアリマス、併ナガラ其交渉ハ遂ニ不調ニ了リマシテ、已マ得ザルニ付コトカラシテ、遂ニ廣業スルト云フヤウナコトニナタノデアリマス、是ハ此廣業致シタルト云フ即チ原因デア

ルノデゴザイマス、諸君モ御承知ノゴザイマス通、羽二重ハ我國ノ重要輸出品ノ最モ重
モノナルモデアリマシテ、生絲ニ亞イダコロノ輸入品デアリマス、又工藝品トシテハ第一
ノ輸出品ニ位シテ居ル、デ一昨年アタリハ一箇年ニ四千萬圓カラノ輸出ヲ致シタノデ
アリマシテ、其四千萬圓ノ輸出ヲ致シタ中ノ二千萬圓餘ハ、此福井ニ於キマシテ
生産致シタコロノモノガ、輸出サレテ居ルデアリマス、デ國家ガ此貿易品ノ輸出ヲ獎勵
スルト云フ事柄ハ、何時デモ是ハ必要ナコトデアリマスルガ、目下我國ノ財政經濟上カラ
割出シマシテ、殊ニ是ノ如キ重要ナル輸出品ニ對シテハ出來得ルケノ世話ヲシテヤル
ト云フコトハ、是ハ當然ノコトデアラウト思フデアリマス、然ルニ保護獎勵ドコロデナ
クシテ、前來申述ベマスルトコロノ收稅官吏ノ不當ナル取扱ノタメニ、此羽二重ハ散々
ノ目ニ遭ヒマシテ、遂ニ一般廢業セネバナラスト云フヤウナ悲境ニ立至リマシタト云フコ
トハ、私ハ甚ダ之ヲ悲ムノデゴザイマス、是ノ如ク廢業致シマシタコロノ結果ハ、當然此
羽二重ノ輸出ト云フモノハ減少スルノデゴザイマスカラシテ、ソレダケ國民ノ損害トナリ、
又正貨ノ流出トナリ、又財政上ノ不利ニナルコトハ申スマデモナイコトデアリマス、ソレダ
ケデハナクシテ、外國ニ對シテ我國ノ財政上ノ信用ニ付イテ少カラヌ影響ヲ與ヘラデアラ
ウト思フ、各國ドコロノ所ニ參リマシテモ、此輸出品ノ獎勵ト云フモノハ、各種ノ方法ニ
依テ其及限リノ力ヲ盡シテ居ルデアリマス、然ルニ我國ニ於キマシテハ、先づ原因モ
何モ分ラナイノデ、昨日及一昨日來ノ五大國ノ輸出國人ガ、日本カラ稅ノタメニ羽
二重商ガ廢業致シタト云フノデ、其取引ヲ延期セヨ、又取引ヲ中止セヨト云フコトヲ出
シマシタ電報ヲ見マスレバ、甚ダ是ハ驚入ルト云フコトデアラウト思フデアリマス、是ノ如キ
稅務官吏ノ不當ノ取扱ノタメニ、外國ニ對シマシテ我國ノ財政上ノ信用ニ疵ヲ付ケル
ト云フヤウナコトニナリマシタノハ、私ハ之ハ取返シノ付カヌ歎ハシイコトデアルト思フ
デアリマス、又是ノ如ク廢業ヲ致シマシテ、其生産ガ減少スルト云フコトニナリマスレバ、
元來稅ヲ取ルト云フコトカラ起シタモノデアリマスガ、其生産品ガナクナリマスレバ、稅源ト
云フモノハ廢滅シテシマフノデアリマスカラ、是亦一體稅ヲ取ル、金ヲ取ルト云フ目的ガ、
却テ其稅ガ取レヌト云フコトニナリ、是ハ即チ國庫ノ不利トナルモノデアリマス、是ノ如ク
稅法ヲ害シ、稅源ヲ涸渇シ、稅本利用ノ原則ニ戻リ、又國民經濟上ノ原則ニ戻ルヤ
ウナ事柄ヲ致スト云フコトハ返ス、モ殘念ノコトデアリマス、之ガタメニ地方デハ大
イニ經濟上ノ動亂ヲ與ヘタト云フコトハ、モウ既ニ先程申上ケタ通デゴザイマス、丁度
此事柄ハ、我國ニ於キマシテ福井ノ羽二重ノ是ノ如キ事態ノ生ジタト云フコトハ、丁度
英吉利デ申シマスレバ「マンチエスター」ノ全市ガ、其工業ヲ止メタト云フノニ等シイノデ
アリマス、デ一日休ミマスルト、丁度福井ノ羽二重ハ一日休ミマスルト平均六七
万、此頃ハ百姓ノ暇ノトキデアリマスカラ、一日ニ二十萬圓カラノ生産品ガ出來ル
デアリマス、故ニ一日此商賣ノメバ十萬圓デケノ生産ガ減ルデアリマス、十日休メバ
百萬圓ト云フコトコロノ其生産ガ減ルデアリマス、東北三縣ノ鐵礦ト云フコトハ、諸君
モ御心配ニナリ、又段々過日來問題モアリマシタガ、殆ド是ト餘リ徑廷ハナイノデアリマ
ス、デ是ノ如キ事情デゴザイマスガ、右ニ對シマシテ政府ハ此國民ノ困難、又輸出品ニ與
フル影響ニ付イテ、一體重要視ナサヌデアルカ、若シ之ヲ重要視サレテ居ルト云フコ
トデアラナラバ、政府ハ現今如何ナル處置ヲ執ラレツ、アルカ、又從來ノ如ク課稅ニ變
動ヲ與ヘズシテ、營業者ヲシテ再ビ開業ヲナサシメルト云フコトコロノ手續ヲ運バレヌデア
ルカ、此事ヲ政府ノ答辯ヲ求メタイノデアリマス、前來申述ベタ如ク、一日答辯ガ後レ、
若クハ一日此事柄ガ等閑ニ付セラル、ナラバ、十萬圓ノ違ガアル、又二日後レバ二
十萬圓違フト云フヤウナコトニナルデアリマスカラ、願クハ今ノ質問ノ要旨ニ對シマシ
テ、政府ハ速ニ此場所ニ於テ答辯セラレンコトヲ希望スル次第デアリマス

○大藏大臣(法學博士阪谷芳郎君) 唯今秋野君ノ御質問ニ對シテ答辯シマス、福
井市ニ於キマシテ羽二重ノ營業稅ノコトニ付キマシテ、一ノ紛議ノ起リマシテ、秋野君
ノ質問ヲ煩ハスニ至リタト云フコトハ、甚ダ悲シマス、此事ニ付キマシテハ、既ニ數日前
政府ニ於テモ、其報道ニ接シマシテ、當局ノ稅務官吏ノ方ニ質問ヲ致シテ見マシタノデ
ゴザイマスガ、是ハ法律ノ解釋上ニ於キマシテ、從來ノ取扱ニ適當ヲ得ストコロガアルカ
ラ、其取扱ヲ改メタイト云フコトデアリマス、其結果ト致シマシテハ、製造家ノ方ノ稅
ハ少シ減ジテ、販賣業者ノ方ノ稅ハ少シ増スコトニナルカモ分リマセヌガ、免角稅ノ賦
課ノ上ニ於テ公平ヲ求メタイト云フ考ヘカラ、斯ウ云フコトニナタノデアラト云フコトニ承
知致シマシタ、又販賣業者ハ今多少紛議ヲ醸シテ居リマスガ、製造業即チ機業家ト云フ
モノハ、一日モ休ンデハ居リマセヌ、是ハ御安心ニナラシムゴザイマス、是ニ於テ政府
於キマシテハ、其事情ヲ能ク熟考致シマシテ、成程當該官吏ノ見解ハ強チ惡リトハ考
ヘマセヌ、サリナガラ多年取來タコトヲ十分事情ヲ疏通セズニ、急激ニ變更スルト云
フコトハ宜クナイト斯ウ考ヘマシタ故ニ、此事ハ其取扱ニ多大ノ變更ヲ來サヌヤウニ致ス
ヤウニト云フコトハ、直チニ訓令致シマシタ、ソレ故ニ最早昨今ニ於キマシテ適當ナル解決
ガ著イテ居ルト思ヒマスノデ、御安心ニナリマスヤウニ質問者ニ答辯致シテ置キマス

○楠目玄君 本員ハ東京電鐵道ノ直上ノコトニ付イテ、當局者ニ質問致シタイ
思ヒマシタ、既ニ其質問書ヲ提出シテアリマス、ケレドモガ少シク其意ヲ盡サストコロガア
ルト思ヒマシタ、之ヲ補フタメニ登壇致シタノデアリマス、聞ク所ニ依レバ、此東京市
街鐵道株式會社外ニ會社ハ、合意ノ上ニ於テ、今此三錢均一ナルコロノモノヲ、五
錢均一ニ引上ゲルト云フコトヲ聞キマス、併シ此問題ハ誠ニ小サイヤウニ思ハレマス
ケレドモ、深ク考フレバ餘程大キナ問題ト思ヒマス、僅カ引上ゲルトコロノモノハ一錢デア
ル、二錢デアリマスケレドモ、日ニ通行シテ居ルコロノ人民ニ取テ見マスレバ、餘程是
ハ大キナ問題デアリマス、關係スルトコロハ大ウゴザイマス、一日ニ二錢ヲ引上ゲル
往復四錢違フ、四錢ヲ積テ見ルト即チ一箇月ハ一圓二十錢トナル、此小サナトコロノ
勞動者ニ取リマシテハ、一日日本當ノ收利ハ四錢位シカナイ、ソレガ四錢上ケラレタナラ
モウ取ルトコロガナクナデシマフデアル、是ヲ以テ一般ノ人民ノ頭ニ掛ケルト見ルト、非
常ニ大キナ稅デアリマス、又是ハ東京市民ノミニ關係スルカト言ヘバ、決シテ左様デハ
ナイ、東京ハ即チ日本國ノ首府デアル、日本ノ國民ハ皆東京ニ集ル、其集ル人民ノ
又難義デアリマス、是ハ一ツ此事ニ付イテハ、能ク當局者ニ考ヘテ貰ヒタイト云フタメ
ニ、本員ハ質問書ヲ出シタノデアリマス、併シ此市街鐵道ト云フモノニ付イテハ、敷設
當時ニ於テ隨分ヤカマシキ問題デアッテ、即チ之ヲ個人ニ持テセルノハ宜クナイ、是ハ是
非市ノ有ニシテ置カナレバ、將來弊害ガ起ルト云フコトハ隨分當時ノヤカマシキ問題デ
アッタノケレドモ、ソレハ漸ク三錢均一ニシテ一般人民ノ便利ヲ圖ルト云フコトノ下ニ、
漸ク此敷設ノ許可ヲ得タコトデアラウト思フ、サウシテ置イテ僅ニ此處二年シカ經ナイノ
デアル、二年經ルト直グ之ヲ三錢ヲ五錢ニ引上ゲルト云フコトハ、ドウ云フ考デアリマス
ルカ、私ハ之ハ其會社ノ重立ツ者ガ、己ノ利益ヲ壟斷シテ、公共ノ利害ヲ顧ミ
ズシテ、即チ自家ノ利益ヲ擅ニスル、斯ウ云フニシカハ是ハ思ハレヌノデゴザイマス、然
ルニ此事ニ付イテ、其會社ノ重立ツ人ハ、斯ウ云フコトヲ言デ居ルサウデス、是ハ三
會社ヲ合併シテ、即チ五錢持テ往ケバ、市中ドコヘモ往ケルデアルカラシテ、詰リ其
割合ハ廉クナルデアル、斯ウ云フコトヲ言フサウデアル、ケレドモガデス、此電車ニ乘
ル者ハ、毎日々々此市街ヲ週リ週リ往ケモノハアリマセヌ、大概一區半區ヲ乘

ルモノが多クアル、ツレテ三會社が合併シタル云々、其利益ヲ被ルト云フモノハ僅
カナ人デアデ、多ノ人ハ矢張直上ノタメニ難義ヲスルモノデアル、サウスレバ僅々
人ニ便利ヲ與ヘテカラ、多クノ人ニ難義ヲサセルト云フコトハ、是ハ社會政策上カ
ラ、決シテ許スベカラザル問題デゴザイマス、サウシテ又言ヒマス、ドウモ近來利益ガ少
ナイ、ドウモ配當ガ少ナイ、ツレデカラシテ、之ヲ上ゲナケレバ、到底維持ガ出來ナイト云
フコトヲ言フサウデゴザイマス、ケレドモ其實際配當ヲシテ居ルトコロノモヲ聞イテ見ル
ト、決シテ少ナイノデナイ、此電車鐵道ニナラナイトコロハ、捨テ、置キマシテ、三十
七年ニ於テハ、東電ノ方が一割一步配當シテ居ル、サウシテ三十八年ニハ又一割一
步、市街鐵道ノ方三十七年が一割、三十八年が一割一步配當シテ居ル、一割以上ノ
配當ヲシテ居ルヲ見テハ、決シテ是ガ利益ノ少ナイト云フコトハ言ハレヌ、一般ノ鐵道ノ如
キハ、僅カ五朱カ六朱カデシテ居リマス、ツレカラ見レバ非常ナ利益デアル、又是カラ
以上ノ利益ヲシヤウト云フコトハ、是ハ實ニ不當極マルモノデアル、又之ヲ以テ外國ノ比
較ヲ取ツテ見レバ、ドウデゴザイマス、大概此外國、即チ歐米ノ鐵道ハドコデモ十錢カ
ラ——日本ノ銀貨ニシテ十錢以上ノトコロハナイ、此十錢ト云フコトコロノモト、サウシ
テ歐米ノ物價、其他ノ役人ノ給料ヤ勞銀ニ比較ヲ取ツテ見マスルト云フト、丁度日本
ノ五倍ニナデ居ル、他ノモノハ五倍ニナデ居ル、或ハ官吏ノ給料デモ、教員ノ給料デ
モ、一年千二百圓位取ツテ居ル、日本ノモノハ僅カ二百四五十圓シカ取ツテ居ナイ、丁
度何デモ五倍、國會議員ハ一万圓取ツテ居ルト云フコトデアル、國務大臣ハ一万八千
圓取ツテ居ル、サウシテ見レバ、向フハ何シテモ五倍強デアル、サウスレバ向フ十錢ガ
丁度日本ノ二錢デ、今ノ三錢ハ高、一錢ニ引下ケルガ宜、是ハ三電車聯合シテ二
錢ニ引下ケルガ、丁度歐米各國ノ調子が合フデアル、之ヲ五錢ニ引上ゲルト云フト
ウデアルカ、歐羅巴ヲ見テ見レバ二十五錢ニ上ゲタヤウナモノデアルニ、二十五錢ニ若シ
此歐米ノ市街鐵道ガ上ゲタナラバ、歐米ノ人民ハ之ヲ見ルニドウシマス、立所ニ電車
ノ燒打ガ始マリマス、所ガ日本デ之上ゲルト云ツテモ、存外人民ガヤカマシク言ハナイ、
又最モ怪シイハ此新聞紙、新聞紙ナシカハ悉クハサウデハアリマセヌケレドモ、新聞紙
ニ依テハ之ヲ歡迎シテ居ル新聞紙ガアル、是ハ實ニヒドイ、何シタル考デアルカ、私ハ何
カ茲ニアリサウニ思ハレ、感シガ致シマス、何カナケレバ是ハ歡迎スル譯ハナイ、社會ノ耳
目タルトコロノ新聞紙ガ、十分ノ二付イテハ制裁ヲ加ヘナケレバナラス、又制裁ヲ加フベ
キ新聞ガ歡迎スルトハ何事カ、斯ウ云フヤウサコトモアルシ、尙此會社ノ内幕ニ付キマシ
デハ、イロ／＼ノコトガ、是ハ昨年以來ノ時事新報ニ書イデアッタト云フコトヲ承知致シ
マス、ツレテチヨット調ベテ見マスルト、三十八年ノ十月十八日ヨリ十一月十五日ニ掛
ケテ十八回ト云フモノ、時事新報論シテアル、是ハ私が申上ゲナクテモ、諸君ガ能ク
知ツテ居ルデラウ、私ハ此新聞ニ書イデアルト云フコトヲ證據ニシテ此處ニ言ヒハシナイ、新聞ハ
ツレハ嘘モ云フ、無イコトモ有ルヤウニ云フコトモアラウ、イロ／＼アリマスカラ、證據立テ
テ言フノデハナイガ、何カサウ云フコトノ書カレルト云フモノハ、又何カ譯ガアルカ知ラヌト
思フ、サウ云フヤウナイロ／＼ナ不正ナコトガアデスラ、一割以上ノ配當ヲシテ居ルナラ
バ、之ヲ能ク嚴重ニ帳簿ナシカラ取締ツテ往クナラバ、一割五歩ノ配當モ出來ルカモ知レ
ナイ、尙之ヲ五錢ニスルナラバ、一割、三割ノ配當ヲスルコトニナデ來ルデラウ、是ハ實
ニ小サイ、此細民ノ金ヲ取上ゲテ、サウシテ中以上ノ者ノ腹ヲ肥スト云フコトニナデ
來テ、私ハ是ハ實ニ怪シカラヌトデアルト云フコトヲ思フノデアル、斯ウ云フコトハ政
府ハ十分ニ取締ラナケレバ、其任務ヲ盡ナイモノデアラウト思フノデアル、何トナレバ始メ
是ヲ許可シタルト云フモノハ、決シテ之ヲ擅ニサセル、專擅ヲサセル專横ヲサセルト云フコト

ハ、決シテサウ云フコトハ豫期シテ居ナカッタデアラウト思フ、一般ノ便利ヲ圖ルト云フガ
タメニ、此東京市ノ真中ニア、云フモノヲ許シタノデアル、所ガ若シ之ヲシテ高クテ人民
ガ乘レナイト云フコトニナデ來レバ、ドレデケノ不幸デゴザイマス、アレニハ隨分危險ガ
アリマス、ウツカリ横切シテ往キヨッタナレバ、ツレコト大怪我ヲスル、ツレナコトニ構ハズ、之
ヲ許シタルト云フモノハ、大イニ是ハ廉クテ便利ト云フコトデ、是ハ許可シテアルニ相違ナ
イ、ツレテ高ク取ツテモ政府ハ之ヲ許可スル、警視廳モ默テ居ルト云フコトニナデ來
レバ、即チ此中以下ノ者ヲ審メテ、中以上ノ者ニ利益ヲ與フルト云フコトニナデ、是ハ
決シテ政府ノ本意デナイト云フコトヲ、本員ハ信ズルノデアル、是ハデス、私ハ出來ルナラ
バ、市ノ有ニスルガ、本當デアルト思フデス、斯ウ云フ他ニ競争モ出來ナイドウシテモ他カ
ラ競争モ出來ナイト云フヤウナモノハ、性質カラハ個人ニ持タスベキモノデナイ、ツレ故
ニ鐵道國有ト云フ論モ起ツテ來ルデラウ、ツレハ當然デアルト本員ハ思ウテ居ル、斯ウ云
フ弊ノナイヤウニスルガタメニ、鐵道國有ニスルト云フ論ガ起ルナラバ、此市街鐵道ハ、
何故ニ私人ニ持タシテ置クカ、私ハ是ハ斷然市ガ取ツテ之ヲヤルカ、市ガ若シ之ヲ取ツ
テ經營スルコトガ出來ナケレバ、國家自カラ之ヲ取ツテヤルベシ、即チ此鐵道國有論モ幸
出テ居ルカラシテ、之ヲ國有ニスルガ宜シ、是モ合セテ今度ノ議案ニ出スガ宜シト、
本員ハ考ヘテ居ル、サウシテ置イタナラバ、直グ此東京市ハ利益ガ多イモノデアルカラシ
テ、私ノ方ニ與レト直グヤデ來ル、國家ハチヨット肩ヲ變ヘル間、杖ニナデ居ルト云フ
話、斯ウ云フコトヲ考ヘテ見マスレバ、此市街鐵道ガ擅ニ此直上ゲラスルト云フコトハ、
ドウシテモ此社會公衆ノ利益ヲ思フ故カラシテ、是ハ政府ハ許可スルコトガ出來ナイ、若
シ之ヲ許可スルアルト云フコトガ、規則ノ上ニ於テハナイ、ツレハ、警視廳ガ與ヘルト云フ
カモ知レマセヌケレドモ警視廳ノ監督ハ即チ是ハ內務大臣ガ監督シテ居ルカラ、是カ若
シ公共ノ利害ニ關係ガアルモノトスレバ、內務大臣ハ十分ニ此監督ノ任ガアルト思ヒマ
スカラ、之ニ對シテ內務大臣ハドウ云フ處置ヲ執ルト云フコトヲ、私ハ即答ニ與リタ
イ、又內務大臣ガ之ニ付イテ未ダ十分ニ考ガナイ、マダ何ノ書面モ來テ居ナイト云フコ
トヲ言フカモ知レマセヌガ、若シサウスレバ、將來之ニ對スル考ヲ聞キタイノデアル、將來ハ
之ヲドウスルカ、若シ其書面ガ來、又許可ヲ與ヘルト云フ場合ガ來タナラバ、內務大臣
ハ之ニ對シテドウ云フ處置ヲスルカト云フコトヲ承リタイノデアリマス

(內務大臣原敬君登壇) 唯今ノ楠目君ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、私ハ未ダ此實錢
直上ノ願書モ、請願書モ落手シテ居リマセヌ、何モ書類ヲ受取リマセヌ間ニ、私ハ如何
ニ處分スルカト云フコトヲ御答申スコトハ出來マセヌ、併ナガラ聞ク處ニ據レバ、何カ出
願ガアルカノヤウカ聞キマシタ、果シテ出願ガアリマスレバ、公平ニ慎重ニ調査ヲ致シテ、相
當ノ處分ヲ致シマス、是デケ御答ヲ致シマス

議長(杉田定一君) 日程第一、明治三十九年度歳入歳出總豫算追加案全部
ヲ議題ト致シマス、栗原亮一君

第一 (第一號) 明治三十九年度歳入歳出總豫算追加案

(栗原亮一君登壇)

○栗原亮一君 第一號明治三十九年度追加豫算ノ審査結果ヲ報告ヲ致シマス、
此追加豫算ハ先般本議場ニ於キマシテモ、戰時稅ガ繼續ト決定ニナリマシテ、此戰時
ハ政府ニ於テモ、慎重ナル調査ヲ遂ゲテ、改正若クハ整理ヲスルト、其タメニ一ノ此調
査會ト云フモノヲ設ケ、是ニハ委員六十名、總裁副總裁ヲ置キ、サウシテ此委員ハ貴
衆兩院ノ議員、並ニ學識經驗アルモノ、又當局ノ高等官吏等ヲ加ヘテ、組織ニナルモノ

カ、政府自ラ責任ヲ執ルハ宜シト云フコトデアル。又政府自ラ責任ヲ取ルニナク
來ナケレバ、議院ニ於テ開會中ニ調査ガ出來上ラナイトモ、政府ノ同意ヲ得テ調査會ヲ
員ニ依リテ調査スルモ可ナリ、然ルニ其道ニ出デズシテ、以テ是ノ如ク混合ノ調査會ヲ
開クト云フコトハ宜シクナイ、ト斯ウ云フ議論ニ歸著シタト私ハ見ルノデアリマス、若シ波
多野君ガツレダケノ熱心アッテ、演壇ニ登リテ反對論ヲ執ラレルナラバ、先ヅ繼續委員ノ
組織ヲ爲スベシト云フコトノ議ヲ出シテ、政府ノ同意ヲ求メラルルノガ第一ノ順序デア
タラウト思ヒマス、是ノ如クシテモ出來ルモノヲサウセズシテ、斯ウシタイト云フコトノ反對
ト云フモノハ、自カラ信ズルトコロガ薄クシテ、以テ唯調查會ト云フモノニ反對セラレタト云
フコトニ過ギナイデアラウト思ヒマス、又此調査會ヲ置クト云フコトガ、始メテノ經驗デアル

ル者ハ毎回一石以上ノ供給ヲ爲ストキニ限リ其ノ造石稅又ハ出港稅ニ相當スル金額ノ下付ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

第三條 前二條ノ請求ハ酒精酒類其ノ他酒精含有飲料ノ使用又ハ供給後一年ヲ經過シタルトキハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四條 第一條ノ酒精ニ對シ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ變性ヲ命スルコトヲ得

第五條 第一條ノ請求ヲ爲サントスル者ハ申請書ニ造石稅ヲ納付シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

第六條 詐偽其ノ他不正ノ所爲ヲ以テ造石稅又ハ出港稅ニ相當スル金額ノ下付ヲ政府ニ請求シタル者ハ其ノ造石稅又ハ出港稅ノ五倍ニ相當スル罰金ニ處ス但シ三十圓ヲ下ルコトヲ得ス

第七條 間接國稅犯則者處分法及明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタル者ニ之ヲ準用ス

附則 醫藥用工業用酒精稅法ハ之ヲ廢止ス但シ本法施行前ニ於テ造石稅ノ賦課ヲ受ケタル醫藥用酒精ノ稅金下戻ニ關シテハ本法施行後三箇月ヲ限リ醫藥用工業用酒精稅法ヲ適用ス

○大藏大臣(法學博士阪谷芳郎君) 此法律案ハ從來醫藥用酒精ト云フモノハ、戻稅ヲ致シタルデゴザイマスルガ、先年來製藥家其他ヨリ此戻稅ト云フコトハ宜クナイト云フ陳情ガゴザイマス、又稅ノ取締ノ上ニ於キマシテモ戻稅ヲセヌ方ガ、稅ノ取締ニ便宜デゴザイマス、併ナガラ事柄ガ藥品ニ關シマスルコトデゴザイマスカラ、一應中央衛生會ノ意見ヲモ徵シタルデゴザイマスルガ、中央衛生會ニ於テモ、此醫藥用ノ酒精ノ稅ヲ戻スノ必要ハアルマイト云フノ議論デゴザイマス、ソレ故ニ今度醫藥用酒精ノ戻稅ヲ廢スルト云フコトニ、規定致シタイト考ヘマスルノト、今一ツハ沖繩縣ノ其燒酎ヲ矢張工業用ニ使フ場合ニハ、是ヲ戻稅ヲスルト云フコトヲ規定致シタイト、即チ成ルベク輸入ヲ制限シテ内地ノモノヲ使用スル、ト云フ必要ヲ認メマシタルデゴザイマス、此事ニ付キマシテハ、或ハ多少藥品ノ製造上如何ニ付イテノ議論モ聞クトコロデゴザイマスガ、政府ノ見ルトコロハ、是ノ如クニ規定スルヲ以テ適當ナリト考ヘルノデゴザイマス、御協贊ヲ仰イテ置キマス

○恆松隆慶君 本案ハ九名ノ委員、議長指名アラランコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) マダ其方ノ議事ニハ移リマセヌ、日程第四、右議案ノ審査ヲ附託スベキ委員ノ選舉ニ移リマス

第四 右議案ノ審査ヲ附託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君 前ニ申シマシタ通、九名ノ委員ヲ議長ノ指名ニ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 恆松君ノ發議ノ通、九名ノ委員議長指名ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマスカラ、其通ニ致シマス……日程第五 廢兵院法案ニ移リマス

第五 廢兵院法案(政府提出)

第一讀會

(書記朗讀)

廢兵院法案

第一條 戰鬪ノ爲傷痍ヲ受ケ軍人恩給法ニ依リ增加恩給ヲ受クル者ニシテ救護ヲ要スルモノハ命令ノ定ムル所ニ依リ廢兵院ニ收容ス

第二條 公務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ軍人恩給法ニ依リ增加恩給ヲ受クル者ニシテ救護ヲ要スルモノハ特ニ廢兵院ニ收容スルコトヲ得

第三條 廢兵院ニ收容シタル者ニハ其ノ間恩給ノ支給ヲ停止ス

第四條 廢兵院ニ收容シタル者左ノ事項ノ一ニ該當スルトキハ退院ヲ命ス

一 軍人恩給法ニ依リ恩給ヲ剝奪セラレ又ハ停止セラレタルトキ

二 救護ヲ要セサルニ至リタルトキ

三 屢懲罰ニ處セラレ改悛ノ見込ナキトキ

第五條 廢兵院ニ收容シタル者ニシテ退院ヲ命セラレ又ハ自己ノ便宜ニ依リ退院シタル者ハ退院ノ日ヨリ二箇年ヲ經過スルニ非サレハ再ヒ廢兵院ニ收容スルコトヲ得ス

第六條 廢兵院ニ收容シタル者ハ其ノ犯罪及審判ニ關シテハ服役ヲ免セラレタル當時ノ官等級ニ應シ現役陸軍軍人ト看做ス

第七條 廢兵院ニ於テ寄附ヲ受ケタル不動産、金錢及有價證券ハ廢兵院基金ト爲シ其ノ利子其ノ他ノ果實ト共ニ之ヲ蓄積ス

第八條 廢兵院基金ノ利子其ノ他ノ果實ハ廢兵院ニ收容シタル者ニ係ル費用ニノミ之ヲ使用スルコトヲ得

第九條 廢兵院基金及其ノ利子其ノ他ノ果實ノ收支ニ係ル検査ハ會計検査院法第十六條ニ依ル

附則 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(陸軍大臣寺內正毅君登壇)

○陸軍大臣(寺內正毅君) 諸君 陸海軍軍人ニ對シマシテ、戰鬪ノ行爲傷痍ヲ受ケマシタモノ、又ハ公務ニ對シマシテ、公務ニ起因致シマシテ、廢疾トナリマシタモノニシテ、家ニ扶養ノナキモノ等ハ、國家ガ是ヲ收容シ、是ヲ救護スルノハ、必要ナルコトト信ジマシテ、政府ハ此法案ヲ提出致シマシタ、御審議ノ上御協贊ニナルコトヲ希望致シマス

○遠山正和君 チョット質問ガアリマス、此廢兵院ノコトデアリマスガ、此法案ヲ見マスルト、此廢兵院ヲ設置スルトコロノ箇所及其方法等書イデゴザリマセヌ、是ハ其箇所ト方法ハ如何ナル方法デゴザイマスカ、是ヲ詳シク承リタイ、之ニ伴フトコロノ經費、是ガイクラ要リマスカ、是モ併セテ御辯明ヲ願ヒマス

○陸軍大臣(寺內正毅君) 此法案ノ制定セラレマス、細部ノコトハ勅令ヲ以テ規定スル積リデアリマス、凡ソ此廢兵ヲ收容シマスル場所ハ、先ツ今日ノ見込デハ全國二三

箇所ハカリヲ置ケバ宜シイ積リデアリマス、又癩兵ヲ收容スベキ人員ニ付キマシテモ、餘
リ多數ハナイ見込デアリマス、從テ豫算ノ如キモノモ餘リ巨額ノ金ハ請求シテ居リマセ
ヌ、ソレ等ノコトニ付キマシテハ、イザレ委員會ニ於テ政府ノ調査シマシタコロヲ、詳シク
述ベルコトニ致シマス

○議長(杉田定一君) 日程第六、右議案ノ審査ヲ附託スヘキ委員ノ選舉ニ移リマス

第六 右議案ノ審査ヲ附託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君 此日程ハ十八名ノ委員、議長指名アラントラ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君ノ發議ノ通、十八名ノ委員議長指名ニ御異議ハアリ
マセヌカ

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、日程第七、軍人恩給法中改正法
律案ノ第一讀會——議案ノ朗讀ヲ致サセマス

第七 軍人恩給法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

軍人恩給法中改正法律案

第六條但書中「四十年ヲ五十年ニ改ム

第九條第一號中「二肢以上ヲ二肢ニ改ム

第十條左ノ一項ヲ加フ

前條第一號ニ該當スル傷病疾病ニ加フルニ同第一號乃至第六號ノ一ニ該
當スル傷病ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル者ハ其ノ症項ノ等差ニ應ジ第三號
表甲號又ハ乙號第一項ノ金額十分ノ六以内ヲ増給ス

第十四條中「輕症ニシテ免除恩給ヲ受ケサル者ヲ輕症ナル者ニ改ム

第十五條中「三箇年分ヲ十箇年分ニ改ム

第一號表ニ別表一、第二號表ニ別表二ノ如ク追加シ第三號表ヲ別表三ノ如
ク改ム

附則

本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ明治三十七年二月六日以降現役ヲ離レ
增加恩給、振恤金又ハ服役年數四十年以上ニ該當スル退職恩給若ハ免除恩
給ヲ受ケヘキ事由發生シタル者ニ給スヘキ恩給ニ付テハ本法ノ規定ニ依ル
前項但書ニ依リ恩給ヲ受ケムトスル者ハ本法施行ノ日ヨリ三箇年以内ニ請
求ヲ爲スコトヲ要ス

明治三十七年二月六日以降本法施行後一箇年以内ニ於テ第十四條ニ依リ
恤金ヲ受ケ又ハ之ヲ受ケヘキ權利ヲ有シテ現役ヲ免除セラレタル後重症ニ
趨キ第九條第六號ヨリ輕キ者ハ其ノ請求ニ依リ策定ノ上相當ノ振恤金ヲ給
ス但シ其ノ請求期限ハ本法施行前現役ヲ免除セラレタル者ニ在リテハ本法
施行後一箇年以内、其ノ他ノ者ニ在リテハ現役免除ノ日ヨリ一箇年以内
トス

本法施行前恩給ヲ受ケヘキ權利發生シタル者ニ付テハ第一項但書ノ場合ヲ
除クノ外總テ從前ノ規定ニ依ル

(別表一)

四十二年	二百二十五	千八百	五千七百七十	千二百二十五	九百	六百七十五	四百五十五	三百三十八	二百七十五
四十三年	二百二十五	千八百	五千七百七十	千二百二十五	九百	六百七十五	四百五十五	三百三十八	二百七十五
四十四年	二百二十五	千八百	五千七百七十	千二百二十五	九百	六百七十五	四百五十五	三百三十八	二百七十五
四十五年	二百二十五	千八百	五千七百七十	千二百二十五	九百	六百七十五	四百五十五	三百三十八	二百七十五
四十六年	二百二十五	千八百	五千七百七十	千二百二十五	九百	六百七十五	四百五十五	三百三十八	二百七十五
四十七年	二百二十五	千八百	五千七百七十	千二百二十五	九百	六百七十五	四百五十五	三百三十八	二百七十五
四十八年	二百二十五	千八百	五千七百七十	千二百二十五	九百	六百七十五	四百五十五	三百三十八	二百七十五
四十九年	二百二十五	千八百	五千七百七十	千二百二十五	九百	六百七十五	四百五十五	三百三十八	二百七十五
五十年	二百二十五	千八百	五千七百七十	千二百二十五	九百	六百七十五	四百五十五	三百三十八	二百七十五

(別表二)

四十二年	百六十五	百五十五	百四十五	百三十五	百二十五	百一十五	百五	百	百
四十三年	百六十五	百五十五	百四十五	百三十五	百二十五	百一十五	百五	百	百
四十四年	百六十五	百五十五	百四十五	百三十五	百二十五	百一十五	百五	百	百
四十五年	百六十五	百五十五	百四十五	百三十五	百二十五	百一十五	百五	百	百
四十六年	百六十五	百五十五	百四十五	百三十五	百二十五	百一十五	百五	百	百
四十七年	百六十五	百五十五	百四十五	百三十五	百二十五	百一十五	百五	百	百
四十八年	百六十五	百五十五	百四十五	百三十五	百二十五	百一十五	百五	百	百
四十九年	百六十五	百五十五	百四十五	百三十五	百二十五	百一十五	百五	百	百
五十年	百六十五	百五十五	百四十五	百三十五	百二十五	百一十五	百五	百	百

(別表三)

第三號 增加恩給表

種別	官將官及相當官	佐尉官及相當官	官	判任官	下士官	卒
第一項	二千四百	千八百	千四百	千二百	千一百	千一百
第二項	二千四百	千八百	千四百	千二百	千一百	千一百
第三項	二千四百	千八百	千四百	千二百	千一百	千一百
第四項	二千四百	千八百	千四百	千二百	千一百	千一百
第五項	二千四百	千八百	千四百	千二百	千一百	千一百
第六項	二千四百	千八百	千四百	千二百	千一百	千一百
第七項	二千四百	千八百	千四百	千二百	千一百	千一百
第八項	二千四百	千八百	千四百	千二百	千一百	千一百
第九項	二千四百	千八百	千四百	千二百	千一百	千一百
第十項	二千四百	千八百	千四百	千二百	千一百	千一百

(陸軍大臣寺內正毅君登壇)

○陸軍大臣(寺內正毅君) 唯今提出シマシタ法案ノ恩給ノ増額ノコト、竝ニ年限ノコトが重ナル改正デゴザイマスガ、榮譽アル陸海軍ノ軍人ノ戰傷ノ結果、不具トナリマシタモノガ、今日マデ國家ガ與ヘテ居リマスル恩給デハ、相當ノ地位竝ニ生活ヲ維持シテ往クコトハ不十分ト考ヘマス、故ニ此増加恩給ノコトヲ提出致シマスル所以デゴザイマス、御審議ノ上御協賛アラシコトヲ希望致シマス

○荒川五郎君 此恩給法ハ、長ク忠實ニ勤續シタ者ニ、獎勵シテ與ヘル金デゴザイマセウカ、其士官トシテカラ下士卒ハ全ク其性質ヲ異ニ致シテ居ルモノデアル、士官ハ職業トシテ居ル軍人デアルカラ、是ハ軍人ヲ長ク勤メテ、忠實ニ勤メタト云フ年限ニ依ッテ、其等級ニ等差ヲ定メルハ他ノ行政官ト同一ニシテ、當リ前デアリマセウカ、下士卒ハ我職兵制度ニ據リマシテ、長ク勤メヤウト思フデモ、勤メルコトガ出來ナイノデアル、殊ニ徵兵制度ノ上カラ、全國皆兵ノ主義ニナッテ居リマシテ、其制限ノ上ニハ一部分シカ出テ居ナイノデアル、然ルニ其義務ノ軍人デアル其下士卒ト、職業ノ軍人デアル士官ト、同一ナル恩給法ノ下ニ支配スルコト云フコトハ、甚ダ恩給其モノ、精神ニ逆ヒヤセヌカト思フノデアリマス、下士卒ハ我職兵ノ制度ニ於テ、之ヲ義務トシテ其公職ニ當ル者ニ於テハ、是ニハ特別ナル又恩給方法ガアルベキモノ、ヤウニ考ヘマスガ、是ニハ四十年ヲ五十年ト改メ、ソレハ非常ノ場合デモゴザイマセウケレドモ、通常ナル徵兵制度ニ於テ、義務トシテヤリマス軍人ニハ、ヤリ得ベカラザルヤウナ改正ニナッテ居リマスガ、其職業軍人ト、義務軍人トノ間ノ差別ニ付イテハ、此箇條ニハ既ニ其意味ガ籠ッテ居ルノデアリマセウカ、是等ハ又其區別ヲスル必要ハナイノデゴザイマセウカ、陸軍大臣ノ御答ヲ願ヒタイ

(陸軍大臣寺內正毅君登壇)

○陸軍大臣(寺內正毅君) 荒川君ノ御尋ハ恩給法ト申スモノガ、義務兵ト又職業トシテ勤メルモノト、區別ガアルカ無イカト云フ御尋デゴザイマスガ(荒川五郎君「サウデス」ト呼フ)元來國家ガ生存ヲシマス上ニ付イテハ、人民自カラ國家ノ必要ニ對シテハ、兵器ヲ執ルト云フコトハ當然ノ義務デアルト考ヘル、殊ニ又將校ガ職業トシテ職務ヲスルモノデアルカラ、他ノ文官ト同シニ恩給法ガ制定セラルベキモノデアル、ト云フ御論デアリマシタガ……

○荒川五郎君 イヤ、サウデナイ

○陸軍大臣(寺內正毅君) 先ヅ姑ク御待チナサイ

○荒川五郎君 士官ハ此年限ハ終身官デアルガ、其年限ノ嵩ムニ從ッテ、其恩給ノ待遇ヲ異ニシテ往ク云フ、其主義ハ行政官ナド、同様デ、其額ハドウデモ其主義デ往カレマセウカ、下士卒ト云フ義務ノ軍人ハ、長ク勤メヤウト思フデモ、制度ノ上カラ出來ナイノデアアル、ソレデ其際ハドウ云フコトデ、此恩給法ノ上デ區別ヲナサル、カト云フノデアリマス

○陸軍大臣(寺內正毅君) 將校ト雖モ他ノ文官ト性質ハ違フモノト信ジテ居リマス、凡ソ此義務ヲ國家ニ對シテ奉公ヲ致シマスルニ、血ヲ捧ゲテ國家ノためニ勤務スルモノハ、最大ナル榮譽ト考ヘテ居ル、軍人ノ恩給法ハ將校竝ニ下士卒共ニ、十一年以上ノ勤務ヲ經過スル者ニハ、今日ニ於テ恩給ヲアルコトニナッテ居ル、其間ニ於テハ、將校下士卒兵卒ノ區別ハナイノデアリマス、又今回提出シマシタ恩給法ノ改正ノ要點ハ、戰場ニ於キマシテ負傷シマシテ不具癱瘓トナッダ者、竝ニ公務ニ起因シテ癱瘓不具トナッダモノニ、恩給ノ額ニ増加シタルベキ増加、恩給ノ額ヲ修正ヲ申出タノデアリマス、是ハ昔年限ニ依リマシテ等差ガ出來タル、又年限ノ改正ヲ致シマシタノハ、今日マデノ軍人恩給法ハ四十年ヲ以テ終局トシテアッタノデス、然ルニ段々此勤務ノ年限ガ進ミマシタノ

ト、戰役ノ屢、アリマシタノト、殊ニ海軍ノ如キハ平素ニ於テモ、遠洋航海其他ニ付イテハ、増加スベキ所謂加算年限ガアルノデ、四十年以上ノ勤務ヲシタモノガ多クナッダノデアリマス、事實ニ於テソレハ將校ニモ下士卒ニモアル、ソレ等ノ者ノためニハ、四十年ヲ終局シ、ソレ以上ノ勤務シタモ恩給ニ浴スルコトガ出來ナイト云フノハ、不都合デアルト云フ考カラ、四十年ヲ五十年マデニト云フコトニ改正シタノデアリマス、大概ソレヲ御分リニナッダラウト思ヒマス

○西村丹治郎君 當局大臣ニ御尋シタイノデアリマスガ、恩給法ニ據ッテ見マスルト云フト、戰地ニ於テ戰死シタ者ト、ソレカラ病死シタ者トノ間ニ、大變ナ差ガ付イテ居ル、即チ戰死シタ者ニ千圓アルト云フコトニナッテ居レバ、病死シタ者ニハ五百圓、即チ半バシカラヌト、斯ウ云フコトニナッテ居ル、特別賜金支給規則ニ據ッテ見マシテモ、亦遺族ニ對スル扶助料カラ云フデモ、半分ニナッテ居ル、是ハ大變私ハ不公平ナ場合ガアルデアラウト思フ、即チ病死シタ者デモ、中ニハ非常ニ其事情ヲ憫スベキモノガアル、即チ言葉ヲ換ヘテ言フナラバ、戰死ト幾度違ハザル位ニ、國家ガ之ヲ待遇シナケレバナラヌ者ガアルト思フ、即チ幾多ノ戰爭ニ參加シテ、サウシテ例ヲ引クナラバ、旅順ノ戰鬪ニ參加シテ居ル者ガ、奉天ノ方面ニ向ッテ、幸ニ旅順ヲ九死ニ一生ヲ得テ、奉天ノ役途中デ病ニ罹ッテ死シタト云フ者モアル、又或ハ戰鬪ノためニ穴居シ、殊ニ私ノ知り居ル人デサウ云フ人ガアル、戰鬪ノためニ穴居シテ居ッテ、其穴居ノためニ脚氣病ヲ起シテ死シタ者ガ、私ノ知り居ル中ニアル、ソレカラ又工兵ガ架橋工事ノ際ニ、水ニ溺レテ或ハ凍死シタト云フヤウナ者ノ如キハ、殊ニ國家ガ之ニ對シテ戰死者ト幾ド同一ニ、待遇シテモ私ハ宜イ位デアラウト思フ、幾多ノ戰鬪ニ參加シ、或ハ架橋ノためニ病氣ヲ得テ、ソレガ原因トナッテ死シタ、或ハ架橋工事ノためニ水ニ溺レテ死シタ、是等ノ者ハ或ハ戰地ニ於テ、元カラ肺病デッタ者ガ、ソレデ死シタト云フコトハ、或ハ祖先ノ遺傳病デ死シタト云フヤウナ者ヨリハ、必ズ國家ハ是ニ對スルコトヲ待遇ノ法ハ異ニシナケレバナラヌト考ヘル、然ルニ昨年ト云ヒ、本年ト云ヒ、此軍人恩給法ノ改正ハ、二度マデモ出サレタカノ如クニ私ハ記憶シテ居ル、然ルニ政府ハ是等ノ病死者ニ對シテハ、他ノ或ハ祖先ノ遺傳病ニ罹ッテ死シタモノト、同シヤウニ待遇シテ宜イト云フノデアアルカ、又戰死者ト殆ド違ハナイ、斯ル病死者ヲ殆ド戰地デ死シタモノヨリハ、半分ホカ國家ガ是ニ待遇ヲナサヌト云フコトハ、此間ニ更ニ不公平ナコトハナイ、是ガ公平ナモノデアルト云フ御考カラ、二度ノ改正案ニ三等ノ區別ヲ付ケテ出サレヌノデアアルカ、或ハ又法規以外ニ——法律規則以外ニ於テ、斯ル事情ノ憫スベキモノ、酌量スベキモノニ對シテハ、取扱上手心デモナサレテ居ッテ、敢テ表面上法律規則ノ改正ヲセヌデモ、差支ナイト云フノデ改正ヲナサレヌノデアアルカ、其點ヲ伺ヒタイ

(陸軍大臣寺內正毅君登壇)

○陸軍大臣(寺內正毅君) 唯今ノ御尋ニ對シテ御答ヲ致シマスガ、御質問ノ要點ハ此恩給法ノ改正ニハ關係ノナイコトデアル、戰場デ戰死シタモノ、竝ニ病死ヲシマシタモノ、ソレ等ニ對シテハ、政府ハ特別賜金ト致シマシテ、死者ニ對シテソレノノ賞與ヲシテ居リマス、是ハ恩給ニハ關係ガナイデアリマス、ソコデ此戰死者、即チ彈丸ニ斃レタモノト、病氣ニ罹ッテ死シタモノト、又内地ニ居ッテ死シタモノト、此三種ニシテ相當ノ區別ヲシテ居リマス、要スルニ是ハ遺族賑恤ノ目的デ、恩給ノ外ニソレダケノ金ヲ特別賜金トシテ、給與スルコトニナッテ居リマス

○西村丹治郎君 特別賜金デモ、此間ニ大變差ガアルヤウニ記憶シテ居リマスガ、如何デス

○陸軍大臣(寺内正毅君) ヲレハ差ガアルノデ、戰開行爲ニ依リマシテ、戰場テ斃レタモノガ第一トシテアル、ソレカラ病氣テ戰場テ死シタモノガ第二トシテアル、ソレカラ内地ニ居テ勤務シテ斃レタモノガ第三、斯ウ云フヤウニ等差ガ付ケテアリマス
○議長(杉田定一君) 議事日程第八、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ移リマス

第八 右議案ノ審査ヲ附託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君 是ハ九名ノ委員、議長指名アラントラ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 恆松君ノ九名ノ委員、議長指名ト云フ説ニ御異議ゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマスカラ、其通ニ決シマス——次ハ日程第九、關稅定率法改正法律案第一讀會

第九 關稅定率法改正法律案(政府提出)

第一讀會

關稅定率法改正法律案

關稅定率法

第一條 外國ヨリ輸入スル物品ニハ別表ニ依リ輸入稅ヲ課ス

第二條 從價稅ニ代フルニ從量稅ヲ以テスルヲ便宜トスル物品ニ付テハ六箇月以上ノ平均價格ニ依リ換算シ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第三條 從量稅率ハ物品ヲ細別シ又ハ風袋込ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第四條 協定稅率ノ適用ヲ受ケサル地域ノ生産品ニ對シ必要アルトキハ勅令ヲ以テ地域及物品ヲ指定シ協定稅率ヲ下ラサル範圍内ニ於テ稅率ヲ定ムルコトヲ得

第五條 本邦ノ船舶又ハ生産品ニ對シ他國ノ船舶又ハ生産品ヨリモ不利益ナル取扱ヲ爲ス國ノ生産品ニ對シテハ勅令ヲ以テ物品ヲ指定シ有稅品ニハ本法ニ定メタル稅率ト同額以下ノ附加稅ヲ課シ無稅品ニハ從價五割以下ノ輸入稅ヲ賦課スルコトヲ得

第六條 外國ニ於テ輸出獎勵金ヲ受クル物品ニハ勅令ヲ以テ獎勵金ト同額ノ附加稅ヲ課スルコトヲ得

第七條 從價稅品ノ課稅價格ハ生産地若ハ仕入地ニ於ケル原價ニ荷造費運送費、保險料其ノ他輸入港ニ到著スル迄ノ諸費ヲ加ヘタルモノトス但シ原價及諸費ニ疑アルトキハ物品ノ輸入港ニ於ケル價格ヨリ輸入稅ヲ控除シタルモノヲ以テ課稅價格トス

第八條 左ノ物品ニハ輸入稅ヲ免ス

一 御料品

二 本邦ニ來遊スル外國ノ元首、其ノ一族又ハ其ノ從者ニ屬スル物品

三 陸海軍ノ輸入ニ係ル兵器、彈藥及爆發物

四 軍艦

五 本邦ニ派遣セラレタル外國ノ大使又ハ公使ニ屬スル自用品

六 本邦在住者ニ贈與スル勳章、賞牌及記章

七、記錄文書其ノ他ノ書類

八 官立公立ノ學校、博物館、物品陳列所其ノ他ノ營造物ニ陳列スル標本

又ハ參考品トシテ輸入スル物品
九 慈善又ハ救恤ノ爲ニ寄贈スル物品

十 政府ノ輸入ニ係ル政府ノ專賣品

十一 商品ノ見本但シ見本用ニシテ適スルモノニ限ル

十二 旅客ノ用具及旅客ノ職業上必要ナル器具但シ旅客ノ身分ニ相當スルモノニシテ稅關カ適當ト認メタルモノニ限ル

十三 在外軍隊及軍艦ヨリ送還セル物品

十四 個人ニ屬スル引越荷物但シ既ニ使用セラレタルモノニ限ル

十五 輸出シタル物品ニシテ五箇年以内ニ輸入セラレ輸出ノ時ノ性質及形狀ヲ變セサルモノ但シ酒精、酒類、砂糖及第八條第九條ニ依リ輸入稅ノ免除又ハ拂戻ヲ受ケタル物品ヲ除ク

十六 勅令ヲ以テ指定シタル輸出貨物ノ容器ニシテ再輸入スルモノ

十七 本邦ヨリ出漁セル船舶ヲ以テ捕獲採取シタル魚介類、海獸、海藻其ノ他ノ水產物及其ノ製品ニシテ工程ノ簡單ナルモノ但シ當該船舶又ハ之ニ附屬セル船舶ヲ以テ輸入シタルモノニ限ル

十八 外國航行ノ船舶ニ船用ノ爲開港内ニ於テ引渡ス物品

十九 難破シタル本邦船舶ノ解體材及機裝品

二十 本邦ヨリ出港シタル船舶ニ搭載シタル輸出貨物ニシテ該船舶難破シタル爲積戻リタルモノ

第八條 左ノ物品ニシテ輸入ノ日ヨリ六箇月以内ニ再ヒ輸出スルモノニハ輸入稅ヲ免ス但シ輸入ノ際稅金ニ相當スル擔保ヲ提供スルコトヲ要ス

一 加工ノ爲輸入スル物品ニシテ勅令ヲ以テ指定シタルモノ

二 修繕ノ爲輸入スル物品

三 學術研究旅行者使用ノ爲輸入スル物品

四 試驗品トシテ輸入スルモノ

五 演劇其ノ他興行用ノ爲輸入スル物品

第九條 輸入原料品ヲ用井勅令ヲ以テ指定シタル物品ヲ製造シ之ヲ外國ヘ輸出シタルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ輸入稅ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ爲スコトヲ得

詐偽又ハ不正ノ所爲ヲ以テ前項ノ拂戻金ヲ得又ハ得ムトシタル者ハ關稅法第七十五條ノ例ニ依リ處分ス

第十條 左ニ掲クル物品ハ輸入ヲ禁ス

一 阿片及阿片吸煙具

二 偽造、變造又ハ模造シタル貨幣、銀行券及帝國政府發行ノ證券

三 公安又ハ風俗ヲ害スヘキ書籍、圖畫、彫刻物其ノ他ノ物品

四 特許、實用新案、意匠、商標及著作權ヲ侵害スル物品

五 法令ニ依リ輸入ヲ禁止セラレタル物品

附則

第十一條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 米及初輸入稅ヲ除クノ外非常特別稅法第二條及第三條中輸入稅ニ關スル規定並明治二十三年法律第八十五號及第八十八號ハ之ヲ廢止ス

(別表)

番號	輸入稅表	品名	單位	稅率
一	第一類	植物及動物(生活力ヲ有スルモノ)	從	無稅
二	植物及苗根(栽植用ノミニ適スルモノ)	馬	從	五五分
三	綿羊及山羊	同	從	五五分
四	豚	同	從	二五五分
五	家禽類	同	從	二五五分
六	魚介類	同	從	二五五分
七	蜜蜂	同	從	二五五分
八	其ノ他ノ動物	同	從	二五五分
九	第二類	穀物及種子	同	無稅
一〇	米及粉	同	從	無稅
一一	大麥	同	從	〇・四五
一二	小麥	同	從	〇・四五
一三	粟	同	從	〇・四五
一四	大豆	同	從	〇・四五
一五	小豆	同	從	〇・四五
一六	蠶豆	同	從	〇・四五
一七	綠豆	同	從	〇・四五
一八	豌豆	同	從	〇・四五
一九	胡麻子	同	從	〇・八六
二〇	荳蔻子	同	從	〇・八六
二一	芥子	同	從	〇・八六
二二	棉子	同	從	〇・八六
二三	其ノ他ノ穀物及種子	同	從	〇・八六
二四	第三類	飲食物	從	一割五分
二五	蔬菜(砂糖糖蜜、糖水又ハ蜂蜜ヲ以テ貯藏シタルモノヲ除ク)	同	從	一割五分
二六	一 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	二 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	三 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	四 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	五 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	六 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	七 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	八 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	九 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	一〇 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	一一 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	一二 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	一三 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	一四 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	一五 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	一六 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	一七 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	一八 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	一九 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	二〇 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	二一 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	二二 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	二三 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	二四 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	二五 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	二六 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	二七 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	二八 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	二九 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	三〇 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	三一 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	三二 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	三三 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	三四 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	三五 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	三六 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	三七 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	三八 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	三九 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	四〇 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	四一 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	四二 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	四三 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	四四 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	四五 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	四六 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	四七 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	四八 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	四九 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	五〇 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	五一 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	五二 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	五三 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	五四 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	五五 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	五六 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	五七 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	五八 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	五九 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	六〇 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	六一 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	六二 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	六三 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	六四 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	六五 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	六六 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	六七 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	六八 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	六九 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	七〇 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	七一 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	七二 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	七三 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	七四 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	七五 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	七六 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	七七 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	七八 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	七九 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	八〇 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	八一 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	八二 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	八三 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	八四 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	八五 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	八六 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	八七 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	八八 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	八九 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	九〇 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	九一 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	九二 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	九三 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	九四 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	九五 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	九六 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	九七 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	九八 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	九九 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇
	一〇〇 罐詰(罐詰又ハ蜜詰ノモノ)	同	從	七三〇

甲	ハム及ベーコン	同	每百斤	一四、〇〇	五八	第五類 酒類及酒精	每リートル	〇、一五
乙	鹹肉	同	同	五、五〇	五九	清酒	同	〇、一五
丙	鹽鯨	同	同	四、五〇	六〇	支那酒(釀造シタルモノ)	同	〇、一五
イ	尾肉	同	同	一、四〇	六一	麥酒	同	〇、一〇
ロ	其ノ他	同	同	二、〇〇	六二	葡萄酒(各種)	同	〇、〇八
丁	鹹魚	同	同	一、〇〇	六三	シヤムパン	同	〇、〇三
戊	其ノ他	同	同	二、七〇	六四	其ノ他ノ酒類	同	二、〇〇
三九	コンデンスミルク	容	每百斤	三、〇〇	六五	二、樽入ノモノ	同	〇、〇九
四〇	人造バター	容	每百斤	二、七〇	六六	其ノ他	同	〇、〇五
四一	チース	容	每百斤	二、三〇	六六	獸毛	同	〇、五八
四二	肉越幾斯	容	每百斤	一、七〇	六六	獸毛	同	〇、五八
四三	ペプトン、ソマトーゼ、ヘモグロビン、インフアントフード其ノ他類似ノ滋養食料	容	每百斤	七、七〇	六六	獸毛	同	〇、五八
四四	鳥卵(生鮮ナルモノ)	容	每百斤	三、割五分	六六	獸毛	同	〇、五八
四五	礦水曹達水其ノ他酒精ヲ含マサル諸飲料	容	每百斤	五、八〇	六六	獸毛	同	〇、五八
四六	一 半リートルヲ超エサル罐入ノモノ	容	每百斤	〇、五五	六六	獸毛	同	〇、五八
四七	二 半リートルヲ超エタル罐入ノモノ	容	每百斤	一、一〇	六六	獸毛	同	〇、五八
四八	其ノ他ノ食物	容	每百斤	四、割	六六	獸毛	同	〇、五八
四八	第四類 砂糖及糖果類	容	每百斤	一、六五	六六	獸毛	同	〇、五八
四九	一 和蘭標本色相八號未滿ノモノ	容	每百斤	二、二五	六六	獸毛	同	〇、五八
五〇	二 和蘭標本色相八號以上十五號未滿ノモノ	容	每百斤	三、二五	六六	獸毛	同	〇、五八
五一	三 和蘭標本色相十五號以上二十號未滿ノモノ	容	每百斤	三、五〇	六六	獸毛	同	〇、五八
五二	四 和蘭標本色相二十號以上ノモノ	容	每百斤	四、割五分	六六	獸毛	同	〇、五八
五三	糖蜜	容	每百斤	八、八〇	六六	獸毛	同	〇、五八
五四	果汁(砂糖ヲ加ヘタルモノ)及糖水	容	每百斤	七、二五	六六	獸毛	同	〇、五八
五五	葡萄糖、麥芽糖及飴	容	每百斤	四、九〇	六六	獸毛	同	〇、五八
五六	蜂蜜	容	每百斤	二、〇〇	六六	獸毛	同	〇、五八
五七	菓子	容	每百斤	一、三〇	六六	獸毛	同	〇、五八
五八	砂糖、糖蜜、糖水又ハ蜂蜜ヲ以テ貯藏シタル蔬菜及果實	容	每百斤	八、〇〇	六六	獸毛	同	〇、五八

[illegible]

一三四	炭酸安母紐漢	每百斤	三八九	一六三	椰子油	從	百斤	價	三
一三五	フオルマリン	同	六九〇	一六四	落花生油	同	同	同	一、五〇〇
一三六	木精	同	三三八	一六五	棉種子油	同	同	同	三、九〇〇
一三七	變性酒精	每百斤	〇、五八	一六六	コローバター(シオブローマカカオ)	同	同	同	三、三〇〇
一三八	桐里亞林	每百斤	六五〇	一六七	肝油	從	百斤	價	二
一三九	阿羅伊漢	同	二、〇〇〇	一六八	魚油及鯨油	同	同	同	三
一四〇	甘精	同	二、〇〇〇	一六九	獸脂	同	同	同	三
一四一	龍腦及艾片	同	三、〇〇〇	一七〇	豚脂	同	同	同	五、八〇〇
一四二	安知必林	每百斤	九、五〇〇	一七一	二其ノ他	同	同	同	一、三〇〇
一四三	安知必林	同	〇、八〇〇	一七二	スチアリン	同	同	同	二、一〇〇
一四四	珊篤寧	同	三、〇七〇	一七三	オレイン	同	同	同	二、〇〇〇
一四五	鹽酸規尼涅及硫酸規尼涅	同	二、〇三〇	一七四	礦油(原油ヲ除ク)	從	百斤	價	二
一四六	鹽酸莫兒比涅及硫酸莫兒比涅	同	八、九〇〇	一七五	輕油(攝氏十五度ニ於テ比重〇、七三〇未滿ノモノ)	同	同	同	〇、九六〇
一四七	鹽酸古加乙涅及硫酸古加乙涅	同	二、五〇〇	一七六	燈油(攝氏十五度ニ於テ比重〇、八七五ヲ超エサルモノ)	同	同	同	〇、八五〇
一四八	鹽酸聖古尼涅及硫酸聖古尼涅	同	三、八五〇	一七七	重油(攝氏十五度ニ於テ比重〇、八七五ヲ超エタルモノ)	同	同	同	〇、八五〇
一四九	炭酸結麗阿曹篤	同	五、二四〇	一七八	ワセリン	同	同	同	〇、八五〇
一五〇	炭酸グリヤコール	同	九、八六〇	一七九	パラフィンワックス	同	同	同	〇、八五〇
一五一	アニリンソルト	同	三、五五〇	一八〇	蠟燭	同	同	同	〇、八五〇
一五二	殺蟲粉	同	一、五八〇	一八一	其ノ他ノ油、脂及蠟	同	同	同	〇、八五〇
一五三	酒精劑(阿片ヲ幾ヲ除ク)	同	〇、五八	一八二	第九類 染料、顔料及塗料	同	同	同	〇、八五〇
一五四	プラスチック	同	〇、五八	一八三	天然藍	同	同	同	〇、八五〇
一五五	ガーゼ及綳帶	同	〇、五八	一八四	乾キタルモノ	同	同	同	〇、八五〇
一五六	膠囊及オブラート	同	〇、五八	一八五	液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一五七	其ノ他ノ諸藥材、化學藥及製藥	同	〇、五八	一八六	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一五八	丸藥、散藥、塗藥其ノ他ノ調劑藥	同	〇、五八	一八七	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一五九	植物性揮發油	同	〇、五八	一八八	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一六〇	亞麻子油	同	〇、五八	一八九	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一六一	亞麻子油	同	〇、五八	一九〇	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一六二	亞麻子油	同	〇、五八	一九一	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一六三	亞麻子油	同	〇、五八	一九二	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一六四	亞麻子油	同	〇、五八	一九三	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一六五	亞麻子油	同	〇、五八	一九四	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一六六	亞麻子油	同	〇、五八	一九五	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一六七	亞麻子油	同	〇、五八	一九六	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一六八	亞麻子油	同	〇、五八	一九七	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一六九	亞麻子油	同	〇、五八	一九八	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一七〇	亞麻子油	同	〇、五八	一九九	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一七一	亞麻子油	同	〇、五八	二〇〇	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一七二	亞麻子油	同	〇、五八	二〇一	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一七三	亞麻子油	同	〇、五八	二〇二	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一七四	亞麻子油	同	〇、五八	二〇三	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一七五	亞麻子油	同	〇、五八	二〇四	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一七六	亞麻子油	同	〇、五八	二〇五	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一七七	亞麻子油	同	〇、五八	二〇六	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一七八	亞麻子油	同	〇、五八	二〇七	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一七九	亞麻子油	同	〇、五八	二〇八	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一八〇	亞麻子油	同	〇、五八	二〇九	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一八一	亞麻子油	同	〇、五八	二一〇	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一八二	亞麻子油	同	〇、五八	二一一	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一八三	亞麻子油	同	〇、五八	二一二	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一八四	亞麻子油	同	〇、五八	二一三	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一八五	亞麻子油	同	〇、五八	二一四	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一八六	亞麻子油	同	〇、五八	二一五	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一八七	亞麻子油	同	〇、五八	二一六	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一八八	亞麻子油	同	〇、五八	二一七	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一八九	亞麻子油	同	〇、五八	二一八	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一九〇	亞麻子油	同	〇、五八	二一九	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一九一	亞麻子油	同	〇、五八	二二〇	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一九二	亞麻子油	同	〇、五八	二二一	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一九三	亞麻子油	同	〇、五八	二二二	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一九四	亞麻子油	同	〇、五八	二二三	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一九五	亞麻子油	同	〇、五八	二二四	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一九六	亞麻子油	同	〇、五八	二二五	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一九七	亞麻子油	同	〇、五八	二二六	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一九八	亞麻子油	同	〇、五八	二二七	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
一九九	亞麻子油	同	〇、五八	二二八	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二〇〇	亞麻子油	同	〇、五八	二二九	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二〇一	亞麻子油	同	〇、五八	二三〇	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二〇二	亞麻子油	同	〇、五八	二三一	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二〇三	亞麻子油	同	〇、五八	二三二	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二〇四	亞麻子油	同	〇、五八	二三三	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二〇五	亞麻子油	同	〇、五八	二三四	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二〇六	亞麻子油	同	〇、五八	二三五	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二〇七	亞麻子油	同	〇、五八	二三六	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二〇八	亞麻子油	同	〇、五八	二三七	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二〇九	亞麻子油	同	〇、五八	二三八	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二一〇	亞麻子油	同	〇、五八	二三九	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二一一	亞麻子油	同	〇、五八	二十四〇	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二一二	亞麻子油	同	〇、五八	二十四一	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二一三	亞麻子油	同	〇、五八	二十四二	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二一四	亞麻子油	同	〇、五八	二十四三	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二一五	亞麻子油	同	〇、五八	二十四四	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二一六	亞麻子油	同	〇、五八	二十四五	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二一七	亞麻子油	同	〇、五八	二十四六	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二一八	亞麻子油	同	〇、五八	二十四七	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二一九	亞麻子油	同	〇、五八	二十四八	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二二〇	亞麻子油	同	〇、五八	二十四九	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二二一	亞麻子油	同	〇、五八	二十五〇	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二二二	亞麻子油	同	〇、五八	二十五一	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二二三	亞麻子油	同	〇、五八	二十五二	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二二四	亞麻子油	同	〇、五八	二十五三	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二二五	亞麻子油	同	〇、五八	二十五四	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二二六	亞麻子油	同	〇、五八	二十五五	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二二七	亞麻子油	同	〇、五八	二十五六	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二二八	亞麻子油	同	〇、五八	二十五七	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二二九	亞麻子油	同	〇、五八	二十五八	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二三〇	亞麻子油	同	〇、五八	二十五九	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二三一	亞麻子油	同	〇、五八	二十六〇	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二三二	亞麻子油	同	〇、五八	二十六一	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二三三	亞麻子油	同	〇、五八	二十六二	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二三四	亞麻子油	同	〇、五八	二十六三	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二三五	亞麻子油	同	〇、五八	二十六四	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二三六	亞麻子油	同	〇、五八	二十六五	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二三七	亞麻子油	同	〇、五八	二十六六	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二三八	亞麻子油	同	〇、五八	二十六七	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二三九	亞麻子油	同	〇、五八	二十六八	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十四〇	亞麻子油	同	〇、五八	二十六九	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十四一	亞麻子油	同	〇、五八	二十七〇	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十四二	亞麻子油	同	〇、五八	二十七一	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十四三	亞麻子油	同	〇、五八	二十七二	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十四四	亞麻子油	同	〇、五八	二十七三	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十四五	亞麻子油	同	〇、五八	二十七四	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十四六	亞麻子油	同	〇、五八	二十七五	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十四七	亞麻子油	同	〇、五八	二十七六	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十四八	亞麻子油	同	〇、五八	二十七七	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十四九	亞麻子油	同	〇、五八	二十七八	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十五〇	亞麻子油	同	〇、五八	二十七九	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十五一	亞麻子油	同	〇、五八	二十八〇	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十五二	亞麻子油	同	〇、五八	二十八一	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十五三	亞麻子油	同	〇、五八	二十八二	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十五四	亞麻子油	同	〇、五八	二十八三	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十五五	亞麻子油	同	〇、五八	二十八四	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十五六	亞麻子油	同	〇、五八	二十八五	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十五七	亞麻子油	同	〇、五八	二十八六	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十五八	亞麻子油	同	〇、五八	二十八七	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十五九	亞麻子油	同	〇、五八	二十八八	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十六〇	亞麻子油	同	〇、五八	二十八九	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十六一	亞麻子油	同	〇、五八	二十九〇	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十六二	亞麻子油	同	〇、五八	二十九一	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十六三	亞麻子油	同	〇、五八	二十九二	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十六四	亞麻子油	同	〇、五八	二十九三	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十六五	亞麻子油	同	〇、五八	二十九四	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十六六	亞麻子油	同	〇、五八	二十九五	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十六七	亞麻子油	同	〇、五八	二十九六	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十六八	亞麻子油	同	〇、五八	二十九七	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十六九	亞麻子油	同	〇、五八	二十九八	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十七〇	亞麻子油	同	〇、五八	二十九九	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十七一	亞麻子油	同	〇、五八	三十〇〇	二液狀又ハ泥狀ノモノ	同	同	同	〇、八五〇
二十七二									

一八七	金液、銀液及白金液	每百斤	一八、〇〇〇	二二三	屑綿絲	無	無	同	〇、三一
一八八	ブラレンブリュー	每百斤	一〇、〇〇〇	二二四	亞麻、大麻、苧麻、ラミー其ノ他ノ植物纖維	無	無	同	〇、四一
一九〇	郡青	同	二、八五〇	二二五	亞麻纖維	無	無	同	〇、四一
一九一	鉛粉	同	一、二〇〇	二二六	亞麻纖維	無	無	同	〇、四一
一九二	白色亞鉛粉	同	一、三二〇	二二七	大麻、苧麻、ラミー及黃麻纖維	無	無	同	〇、四一
一九三	朱及辰砂	同	二、八二〇	二二八	大麻、苧麻、ラミー及黃麻纖維	無	無	同	〇、四一
一九四	ベント	同	四、一〇〇	二二九	羊毛、山羊毛及駱駝毛	無	無	同	〇、四一
一九五	漆	同	六、三〇〇	二三〇	毛絲	無	無	同	〇、四一
一九六	ヴァニッシュ	同	一、三〇〇	二三一	一 織物用ノミニ適スルモノ	無	無	同	〇、四一
一九七	木タール及石炭タール	同	一、一〇〇	二三二	二 其ノ他	無	無	同	〇、四一
一九八	瀝青	同	〇、四五〇	二三三	蘭	無	無	同	〇、四一
一九九	土瀝青	同	一、割五分	二三四	生皮、苧、熨斗絲及屑絲	無	無	同	〇、四一
二〇〇	靴墨	同	八、三〇〇	二三五	眞綿	無	無	同	〇、四一
二〇一	鉛筆(金屬製ヲ除ク)	同	〇、五〇〇	二三六	生絲、玉絲及撚絲	無	無	同	〇、四一
二〇二	二 其ノ他	同	三、〇〇〇	二三七	野蠶絲	無	無	同	〇、四一
二〇三	黒汁	同	一、〇〇〇	二三八	紡績絹纖維	無	無	同	〇、四一
二〇四	一 寫字用又ハ筆記用ノモノ	同	一、〇〇〇	二三九	絹絲	無	無	同	〇、四一
二〇五	二 印刷用ノモノ	同	一、〇〇〇	二四〇	人造絹絲	無	無	同	〇、四一
二〇六	甲 液狀又ハ泥狀ノモノ	同	一、五〇〇	二四一	一 絹入ノモノ	無	無	同	〇、四一
二〇七	イ 石版用ノモノ	同	二、五〇〇	二四二	二 其ノ他	無	無	同	〇、四一
二〇八	乙 固形ノモノ	同	一、割五分	二四三	細索(徑五ミリメートルヲ超エサルモノ)及線	無	無	同	〇、四一
二〇九	三 其ノ他	同	三、〇〇〇	二四四	一 綿製ノモノ	無	無	同	〇、四一
二一〇	墨及朱墨	同	三、〇〇〇	二四五	二 其ノ他	無	無	同	〇、四一
二一一	アーチストカラー及アーチストペーシ	同	三、〇〇〇	二四六	細索(徑五ミリメートルヲ超エサルモノ)	無	無	同	〇、四一
二一二	アーチストカラー及アーチストペーシ	同	三、〇〇〇	二四七	二 其ノ他	無	無	同	〇、四一
二一三	ト	同	三、〇〇〇	二四八	故細索及故繩索	無	無	同	〇、四一
二一四	アンチフォーリンググコンボシヨシ、ア	同	三、〇〇〇	二四九	第十一類 布帛及布帛製品	無	無	同	〇、四一
二一五	ンチコロシトヴベント及類似ノ船底	同	三、〇〇〇	二五〇	生金巾及生シ―チング	無	無	同	〇、四一
二一六	塗料	同	六、四〇〇	二五一	晒金巾及晒シ―チング	無	無	同	〇、四一
二一七	パテントドライヤー	同	三、〇〇〇	二五二	綾金巾	無	無	同	〇、四一
二一八	コッパ―ベント	同	五、九〇〇	二五三	色金巾及緋金巾	無	無	同	〇、四一
二一九	其ノ他ノ染料及顏料	同	一、割五分	二五四	天竺布	無	無	同	〇、四一
二二〇	其ノ他ノ塗料	同	二、〇〇〇	二五五	雲齋布	無	無	同	〇、四一
二二一	第十類 絲縷繩索及同材料	同	二、〇〇〇	二五六	綿帆布	無	無	同	〇、四一
二二二	生綿及線綿	同	無	二五七	綿縐子及綿イタリアンス	無	無	同	〇、四一
二二三	屑綿及故綿	同	無	二五八	更紗	無	無	同	〇、四一
二二四	綿織絲	同	無	二五九	綿フランネル	無	無	同	〇、四一
二二五	一 瓦斯、燒、マーセライズド其ノ他類	同	無	二六〇	綿天鵝絨	無	無	同	〇、四一
二二六	二 其ノ他	同	無	二六一	寒冷紗	無	無	同	〇、四一
二二七	綿織絲	同	無	二六二	綿蚊帳地	無	無	同	〇、四一

二四六	別號ニ織綿窓掛地	從	價	三三	割	二七五	刺繡織物	同	四	割
二四七	別號ニ揭ケサル純綿布	同	價	三三	割	二七六	手巾	同	四	割
二四八	亞麻純子	從	價	三三	割		一 連製ノモノ	同	四	割
二四九	別號ニ揭ケサル亞麻布	同	價	三三	割		甲 綿製ノモノ	同	四	割
二五〇	大麻布	同	價	三三	割		乙 綿製又ハ絹入ノモノ	同	四	割
二五一	苧麻布及ラミー布	同	價	三三	割		丙 其ノ他	同	三	割
二五二	帆布	從	價	一	割		二 單製ノモノ	同	三	割
二五三	エラストックカンヴァス	同	價	一	割		甲 綿製ノモノ	同	三	割
二五四	ゴニール布	同	價	一	割		乙 亞麻製ノモノ	同	三	割
二五五	竹布及鳳梨布	同	價	一	割		丙 綿亞麻製ノモノ	同	三	割
二五六	羅紗及セルヂス	同	價	一	割		丁 絹製又ハ絹入ノモノ	同	三	割
	一 毛製ノモノ	同	價	一	割		戊 其ノ他	同	三	割
	甲 每方ヤールド二百五十グラム	同	價	一	割	二七七	浴巾	同	三	割
	乙 其ノ他	同	價	一	割	二七八	ブランケット	同	三	割
	二 毛綿製ノモノ	同	價	一	割		一 毛製又ハ毛綿製ノモノ	同	三	割
	甲 每方ヤールド二百五十グラム	同	價	一	割	二七九	地氈	同	三	割
	乙 其ノ他	同	價	一	割		一 其ノ他	同	三	割
二五七	アルパカ、オルレアンズ及ラストルス	同	價	一	割		二 大麻氈及黃麻氈	同	三	割
二五八	モスリン(毛綿製ノモノヲ含ム)	同	價	一	割		三 プラツセル氈	同	三	割
	一 生地	同	價	一	割		四 バテントタベストリー氈	同	三	割
	二 其ノ他	同	價	一	割		五 天露絨氈	同	三	割
二五九	イタリアンクロース	同	價	一	割		六 フエルト氈	同	三	割
二六〇	フランネル	同	價	一	割	二八〇	旅氈	同	三	割
	一 毛製ノモノ	同	價	一	割		一 其ノ他	同	三	割
	二 毛綿製ノモノ	同	價	一	割	二八一	テールクロース	同	三	割
二六一	旗布	同	價	一	割		一 絹製又ハ絹入ノモノ	同	三	割
二六二	毛純子	同	價	一	割		二 其ノ他	同	三	割
二六三	天露絨(毛製又ハ毛綿製ノモノ)	同	價	一	割	二八二	窓掛	同	三	割
二六四	ローラークロース	同	價	一	割		一 絹製又ハ絹入ノモノ	同	三	割
二六五	毛フエルト地	同	價	一	割		二 其ノ他	同	三	割
二六六	別號ニ揭ケサル純毛布	同	價	一	割	二八三	蚊帳	同	三	割
二六七	絹縮緬	同	價	一	割	二八四	ハンモック	同	三	割
二六八	絹細	同	價	一	割	二八五	漁網	同	三	割
二六九	絹紋縐子	同	價	一	割	二八六	靴護布	同	三	割
二七〇	絹縐子	同	價	一	割		一 絹入ノモノ	同	三	割
二七一	絹縐子	同	價	一	割		二 其ノ他	同	三	割
二七二	天露絨(絹製又ハ絹入ノモノ)	同	價	一	割	二八七	製本用綿布	同	三	割
二七三	別號ニ揭ケサル純綿布	同	價	一	割	二八八	革布	同	三	割
二七四	別號ニ揭ケサル交織布	同	價	一	割	二八九	牀用油布及リノリューム	同	三	割
	絹入ノモノ	同	價	一	割	二九〇	護謄紐類	同	三	割
	二 其ノ他	同	價	一	割	二九一	インシュレーチングテープ	同	三	割

二九二	二九三	二九四	二九五	二九六	二九七	二九八	二九九	三〇〇	三〇一	三〇二	三〇三	三〇四	三〇五	三〇六	三〇七	三〇八	三〇九
ランブ心	ゴニニ一囊	故ゴニニ一囊	襪襪	其ノ他ノ布帛	其ノ他別號ニ掲ケサル布帛製品	第十二類 衣服及附屬品	雨衣	肌衣(上下別タス)	手袋	足袋	肩掛及襟卷	襟飾	袴鈎	アームサスペンダー類	帽子	長靴、短靴其ノ他ノ履物	鈕釦(粧飾用ノモノヲ除ク)
從	從	從	從	從	從	從	從	從	從	從	從	從	從	從	從	從	從
百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百
價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價	價
三	無	無	三	四	四	四	四	四	四	四	四	四	五	五	四	四	四
一、三九割	稅	稅	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割	割
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九	九
一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二
一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四
一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五
一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六
一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七
一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八
一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九
二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
二三	二三	二三	二三	二三	二三	二三	二三	二三	二三	二三	二三	二三	二三	二三	二三	二三	二三
二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四
二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五
二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六
二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七
二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八
二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九
三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇
三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一
三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二
三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三
三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四
三五	三五	三五	三五	三五	三五	三五	三五	三五	三五	三五	三五	三五	三五	三五	三五	三五	三五
三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六
三七	三七	三七	三七	三七	三七	三七	三七	三七	三七	三七	三七	三七	三七	三七	三七	三七	三七
三八	三八	三八	三八	三八	三八	三八	三八	三八	三八	三八	三八	三八	三八	三八	三八	三八	三八
三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九
四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇
四一	四一	四一	四一	四一	四一	四一	四一	四一	四一	四一	四一	四一	四一	四一	四一	四一	四一
四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二
四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三
四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四
四五	四五	四五	四五	四五	四五	四五	四五	四五	四五	四五	四五	四五	四五	四五	四五	四五	四五
四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六
四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七
四八	四八	四八	四八	四八	四八	四八	四八	四八	四八	四八	四八	四八	四八	四八	四八	四八	四八
四九	四九	四九	四九	四九	四九	四九	四九	四九	四九	四九	四九	四九	四九	四九	四九	四九	四九
五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇
五一	五一	五一	五一	五一	五一	五一	五一	五一	五一	五一	五一	五一	五一	五一	五一	五一	五一
五二	五二	五二	五二	五二	五二	五二	五二	五二	五二	五二	五二	五二	五二	五二	五二	五二	五二
五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三
五四	五四	五四	五四	五四	五四	五四	五四	五四	五四	五四	五四	五四	五四	五四	五四	五四	五四
五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五
五六	五六	五六	五六	五六	五六	五六	五六	五六	五六	五六	五六	五六	五六	五六	五六	五六	五六
五七	五七	五七	五七	五七	五七	五七	五七	五七	五七	五七	五七	五七	五七	五七	五七	五七	五七
五八	五八	五八	五八	五八	五八	五八	五八	五八	五八	五八	五八	五八	五八	五八	五八	五八	五八
五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九
六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇
六一	六一	六一	六一	六一	六一	六一	六一	六一	六一	六一	六一	六一	六一	六一	六一	六一	六一
六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二
六三	六三	六三	六三	六三	六三	六三	六三	六三	六三	六三	六三	六三	六三	六三	六三	六三	六三
六四	六四	六四	六四	六四	六四	六四	六四	六四	六四	六四	六四	六四	六四	六四	六四	六四	六四
六五	六五	六五	六五	六五	六五	六五	六五	六五	六五	六五	六五	六五	六五	六五	六五	六五	六五
六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六
六七	六七	六七	六七	六七	六七	六七	六七	六七	六七	六七	六七	六七	六七	六七	六七	六七	六七
六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八
六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九
七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇
七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一
七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二
七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三
七四	七四	七四	七四	七四	七四	七四	七四	七四	七四	七四	七四	七四	七四	七四	七四	七四	七四
七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五
七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六
七七	七七	七七	七七	七七	七七	七七	七七	七七	七七	七七	七七	七七	七七	七七	七七	七七	七七
七八	七八	七八	七八	七八	七八	七八	七八	七八	七八	七八	七八	七八	七八	七八	七八	七八	七八
七九	七九	七九	七九	七九	七九	七九	七九	七九	七九	七九	七九	七九	七九	七九	七九	七九	七九
八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇
八一	八一	八一	八一	八一	八一	八一	八一	八一	八一	八一	八一	八一	八一	八一	八一	八一	八一
八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二
八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三
八四	八四	八四	八四	八四	八四	八四	八四	八四	八四	八四	八四	八四	八四	八四	八四	八四	八四
八五	八五	八五	八五	八五	八五	八五	八五	八五	八五	八五	八五	八五	八五	八五	八五	八五	八五
八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六
八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七
八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八
八九	八九	八九	八九	八九	八九	八九	八九	八九	八九	八九	八九	八九	八九	八九	八九	八九	八九
九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇												

colis

三九二

乙 眞鍮製ノモノ
二 戸蝶鉄(鐵製又ハ眞鍮製ノモノ)
甲 鐵製ノモノ
乙 眞鍮製ノモノ
三 其ノ他
工匠具、農具及同部分品

一 鐵砧

二 鐵槌

三 レンチ

四 ヴァイス

五 ショヴエル及スクープ(柄アルモノ)

六 其ノ他

刃物(金銀製、鍍金銀製及別號ニ掲ケタルモノヲ除ク)

鐵鏈

懷中時計用鏈

一 金製又ハ白金製ノモノ

二 鍍金シタルモノ

三 其ノ他

ストロブ

磁瑯ヲ施シタル鐵器

咖啡粉碎器及截肉器

コック及バルブ類

一 鐵製ノモノ

二 眞鍮製ノモノ

三 其ノ他

呼鈴及車用警鈴

金製品(別號ニ掲ケサルモノ)

銀製品及鍍金銀製品(別號ニ掲ケサルモノ)

銅製品及眞鍮製品(別號ニ掲ケサルモノ)

アルミニウム製品(別號ニ掲ケサルモノ)

其ノ他別號ニ掲ケサル金屬製品

第十七類 陶磁器、玻璃及玻璃製品

瓦類

一 耐火煉瓦

二 瓦
甲 泔藥ヲ施シタルモノ

同 三六五〇

同 七六五〇

同 二五六〇

從 價

同 三

同 價

同 二三五

同 四六五

同 一〇九〇

同 四〇〇

從 價

同 二

同 價

同 四

同 一六八

同 二〇三

從 價

同 六

同 價

同 一四三〇

同 三

同 價

同 九四八

同 三

從 價

同 九五五

同 二六七〇

同 三

從 價

同 四六六〇

同 六

從 價

同 五

同 三〇八〇

同 六〇〇〇

同 割

同 四〇八

同 四〇九

同 四一〇

同 四一一

從 價

同 四

同 價

同 四

同 價

同 四

同 價

同 四

同 價

同 四

同 價

同 四

同 價

同 四

同 價

同 四

同 價

同 四

同 價

同 四

同 價

同 四

同 價

同 四

同 價

同 四

同 價

同 四

同 價

同 四

同 價

同 四

乙 其ノ他

三 其ノ他

陶磁器(別號ニ掲ケサルモノ)

玻璃塊

玻璃棒及玻璃管

玻璃板

一 無色(平面ノモノ)

甲 厚四ミリメートルヲ超エサルモノ

イ 十方フ*ットヲ超エサルモノ

ロ 其ノ他

乙 其ノ他

イ 一方フ*ットヲ超エサルモノ

ロ 其ノ他

二 水銀ヲ塗リタルモノ

甲 一方フ*ットヲ超エサルモノ

乙 其ノ他

三 有色(著色及砂磨ノモノ)

甲 十方フ*ットヲ超エサルモノ

乙 其ノ他

四 其ノ他

絃窓用玻璃及スカイライトグラス

ウオツチダラス

寫真用乾板

一 現象セサルモノ

二 其ノ他

玻璃鏡

レンズ其ノ他ノ視學用玻璃(縁又ハ柄ナキモノ)

屑玻璃及粉玻璃

其ノ他別號ニ掲ケサル玻璃製品

第十八類 車輛、船舶、學術器、時計及機械類

鐵道機關車及機關車用炭水車

鐵道機關車及機關車用炭水車部分品

一 車輪及車軸

二 タイヤー

三 其ノ他

鐵道客車及貨車

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

同 價

一五六

二四二

二二二

割

割

割

〇、九五

一、一八

一、五二

九、三〇

一、三八〇

一、五八〇

三、二五

三、七一

三、七一

割

割

割

一八、二〇

割

割

四

四

四

無

四

二

二

四、七〇

一、五四

割

割

一、五一

一、三二

一、三二

一、三二

四二三	鐵道馬車、電氣車其ノ他ノ輕便鐵道車及同部分品	從同	價	二	二〇〇	四四四	幻燈器及同部分品	同	同	同	五五五	割割割
四二四	乘車、自動車及同部分品	同	同	二	二〇〇	四四四	寫真器及同部分品	同	同	同	五五五	割割割
四二五	自轉車	同	同	二	二〇〇	四四四	書音器及同部分品	同	同	同	五五五	割割割
四二六	自轉車部分品	同	同	二	二〇〇	四四四	縫衣機	同	同	同	五五五	割割割
四二七	二 其ノ他	從同	價	九五、六〇	割割	四四八	一 手動ノモノ	同	同	同	一一一〇	割割割
四二八	荷車	從同	價	四	割割	四四九	二 足動ノモノ	同	同	同	八二五	割割割
四二九	浚渫機械及同部分品	同	同	一割五分	割割	四五〇	縫衣機部分品	同	同	同	二二二	割割割
四三〇	汽船、帆船及舟艇	同	同	一割五分	割割	四五二	潛水器及同部分品	同	同	同	二二二	割割割
四三一	理學、化學、醫藥器、製圖器、測量器其ノ他ノ學術器	同	同	一割五分	割割	四五三	タイプライター	同	同	同	二二二	割割割
四三二	眼鏡	同	同	一割五分	割割	四五四	電信機、電話機及同部分品	同	同	同	二二二	割割割
四三三	顯微鏡及同部分品	同	同	一割五分	割割	四五五	汽罐	同	同	同	二二二	割割割
四三四	雙眼鏡	同	同	一割五分	割割	四五六	蒸氣機關、瓦斯機關、石油機關、發電機其ノ他ノ原動力機及同部分品	同	同	同	一一一	割割割
四三五	望遠鏡	同	同	一割五分	割割	四五七	金屬工機械、木工機械及同部分品	同	同	同	一一一	割割割
四三六	鐘盤時計及同部分品(航海用ノモノ)	同	同	一割五分	割割	四五八	紡績機械、製織機械及同部分品	同	同	同	一一一	割割割
四三七	置時計及掛時計部分品	同	同	一割五分	割割	四六〇	其ノ他ノ機械及同部分品	同	同	同	一一一	割割割
四三八	一 機械	從同	價	四〇、一〇	割割	四六一	第十九類 雜品	同	同	同	一一一	割割割
四三九	二 其ノ他	從同	價	三、一〇	割割	四六二	コブラ	同	同	同	一一一	割割割
四四〇	一 金側又ハ白金側ノモノ	同	同	三、一〇	割割	四六三	フノリ	同	同	同	一一一	割割割
四四一	二 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四六四	石花菜	同	同	同	一一一	割割割
四四二	三 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四六五	藤皮用樹皮	同	同	同	一一一	割割割
四四三	四 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四六六	一 割リタルモノ	同	同	同	一一一	割割割
四四四	五 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四六七	二 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四四五	六 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四六八	三 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四四六	七 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四六九	四 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四四七	八 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四七〇	五 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四四八	九 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四七一	六 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四四九	十 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四七二	七 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四五〇	十一 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四七三	八 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四五一	十二 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四七四	九 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四五二	十三 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四七五	十 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四五三	十四 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四七六	十一 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四五四	十五 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四七七	十二 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四五五	十六 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四七八	十三 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四五六	十七 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四七九	十四 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四五七	十八 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四八〇	十五 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四五八	十九 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四八一	十六 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四五九	二十 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四八二	十七 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四六〇	二十一 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四八三	十八 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四六一	二十二 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四八四	十九 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四六二	二十三 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四八五	二十 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四六三	二十四 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四八六	二十一 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四六四	二十五 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四八七	二十二 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四六五	二十六 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四八八	二十三 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四六六	二十七 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四八九	二十四 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四六七	二十八 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四九〇	二十五 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四六八	二十九 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四九一	二十六 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四六九	三十 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四九二	二十七 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四七〇	三十一 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四九三	二十八 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四七一	三十二 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四九四	二十九 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四七二	三十三 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四九五	三十 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四七三	三十四 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四九六	三十一 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四七四	三十五 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四九七	三十二 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四七五	三十六 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四九八	三十三 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四七六	三十七 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	四九九	三十四 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四七七	三十八 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五〇〇	三十五 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四七八	三十九 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五〇一	三十六 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四七九	四十 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五〇二	三十七 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四八〇	四十一 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五〇三	三十八 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四八一	四十二 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五〇四	三十九 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四八二	四十三 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五〇五	四十 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四八三	四十四 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五〇六	四十一 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四八四	四十五 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五〇七	四十二 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四八五	四十六 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五〇八	四十三 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四八六	四十七 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五〇九	四十四 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四八七	四十八 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	四十五 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四八八	四十九 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	四十六 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四八九	五十 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	四十七 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四九〇	五十一 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	四十八 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四九一	五十二 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	四十九 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四九二	五十三 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	五十 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四九三	五十四 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	五十一 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四九四	五十五 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	五十二 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四九五	五十六 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	五十三 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四九六	五十七 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	五十四 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四九七	五十八 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	五十五 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四九八	五十九 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	五十六 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
四九九	六十 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	五十七 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五〇〇	六十一 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	五十八 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五〇一	六十二 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	五十九 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五〇二	六十三 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	六十 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五〇三	六十四 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	六十一 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五〇四	六十五 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	六十二 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五〇五	六十六 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	六十三 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五〇六	六十七 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	六十四 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五〇七	六十八 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	六十五 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五〇八	六十九 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	六十六 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五〇九	七十 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	六十七 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五一〇	七十一 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	六十八 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五一一	七十二 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	六十九 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五一二	七十三 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	七十 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五一三	七十四 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	七十一 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五一四	七十五 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	七十二 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五一五	七十六 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	七十三 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五一六	七十七 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	七十四 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五一七	七十八 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	七十五 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五一八	七十九 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	七十六 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五一九	八十 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	七十七 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五二〇	八十一 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	七十八 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五二一	八十二 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	七十九 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五二二	八十三 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	八十 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五二三	八十四 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	八十一 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五二四	八十五 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	八十二 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五二五	八十六 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	八十三 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五二六	八十七 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	八十四 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五二七	八十八 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	八十五 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五二八	八十九 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	八十六 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五二九	九十 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	八十七 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五三〇	九十一 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	八十八 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五三一	九十二 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	八十九 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五三二	九十三 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	九十 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五三三	九十四 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	九十一 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五三四	九十五 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	九十二 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五三五	九十六 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	九十三 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五三六	九十七 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	九十四 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五三七	九十八 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	九十五 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五三八	九十九 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	九十六 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五三九	一百 其ノ他	同	同	三、一〇	割割	五一〇	九十七 其ノ他	同	同	同	一一一	割割割
五四〇	一百〇一 其ノ他	同	同	三、一〇</								

同每百箇	一五、八〇 〇二〇〇
------	---------------

五〇九	杖鞭及傘柄	三 其ノ他	從	價	三	五、一〇	割
五〇	傘	一 金銀製又ハ鍍金銀製ノ金具ヲ付シタルモノ	同	同	四	五	割
五〇	傘	二 其ノ他	同	同	四	五	割
五二一	傘、杖及鞭ノ手	一 絹製又ハ絹入ノモノ	同	同	四	五	割
五二一	傘、杖及鞭ノ手	二 其ノ他	同	同	四	五	割
五二二	寫眞用フ井ルム	一 現象セサルモノ	同	同	四	五	割
五二二	寫眞用フ井ルム	二 其ノ他	同	同	四	五	割
五二三	造花	人物及動物ノ像(金製ノモノヲ除ク)	同	同	四	五	割
五二四	象牙製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	同	同	四	五	割
五二五	象牙製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	同	同	四	五	割
五二六	珊瑚製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	同	同	四	五	割
五二七	珊瑚製品(別號ニ掲ケサルモノ)	同	同	同	四	五	割
五二八	假製寶石及假製眞珠	同	同	同	四	五	割
五二九	化粧具匣	香水、香油、洗齒藥其ノ他各種ノ脂粉、薰石、類	同	同	六		割
五二〇	香水、香油、洗齒藥其ノ他各種ノ脂粉、薰石、類	一 化粧用ノモノ	同	同	二	四、七〇	割
五二一	香水、香油、洗齒藥其ノ他各種ノ脂粉、薰石、類	二 洗濯用ノモノ	同	同	三	九、二	割
五二二	香水、香油、洗齒藥其ノ他各種ノ脂粉、薰石、類	甲 マルセーユ石鹼	同	同	三	五、四	割
五二三	香水、香油、洗齒藥其ノ他各種ノ脂粉、薰石、類	乙 其ノ他	同	同	三	五、四	割
五二四	香水、香油、洗齒藥其ノ他各種ノ脂粉、薰石、類	三 其ノ他	同	同	三	五、四	割
五二五	香水、香油、洗齒藥其ノ他各種ノ脂粉、薰石、類	ビリヤード、テニス、クリケット、象棋其ノ他ノ遊戲ニ用井ル器具及同附屬品	同	同	三	五、四	割
五二六	香水、香油、洗齒藥其ノ他各種ノ脂粉、薰石、類	體操用具	同	同	三	五、四	割
五二七	香水、香油、洗齒藥其ノ他各種ノ脂粉、薰石、類	製造煙草	同	同	二	五、四	割
五二八	香水、香油、洗齒藥其ノ他各種ノ脂粉、薰石、類	線香	同	同	四	一	割
五二九	香水、香油、洗齒藥其ノ他各種ノ脂粉、薰石、類	燐寸	同	同	六	四、一	割
五三〇	香水、香油、洗齒藥其ノ他各種ノ脂粉、薰石、類	煙火	同	同	六	三、〇	割
五三一	香水、香油、洗齒藥其ノ他各種ノ脂粉、薰石、類	爆發藥	同	同	六	三、〇	割
五三二	香水、香油、洗齒藥其ノ他各種ノ脂粉、薰石、類	火藥(無煙火藥ヲ除ク)	同	同	六	三、〇	割
五三三	香水、香油、洗齒藥其ノ他各種ノ脂粉、薰石、類	ダイナマイト	同	同	六	三、〇	割
五三四	香水、香油、洗齒藥其ノ他各種ノ脂粉、薰石、類	デトネートル	同	同	六	三、〇	割

五三〇	四 フューズ	從	價	二	二、八〇	割
五三一	五 其ノ他	同	同	二	二、八〇	割
五三二	藥莖及銃砲彈	同	同	四	四	割
五三三	銃砲	同	同	四	四	割
五三四	銃砲、刀劍其ノ他ノ諸兵器	同	同	四	四	割
五三五	看板	同	同	無	無	稅
五三六	肥料(糠、油糟、食用ニ適セサル乾魚、骨粉、血粉、骨灰、鳥糞、過磷酸石灰等)	同	同	無	無	稅
五三七	別號ニ掲ケサル未製品	同	同	二	一	割
五三八	別號ニ掲ケサル半製品	同	同	二	一	割
五三九	別號ニ掲ケサル全製品	同	同	三	四	割
五四〇	一 粗ナルモノ	同	同	三	四	割
五四一	二 精ナルモノ	同	同	三	四	割
五四二	備考 從量稅率ノ單位ハ圓トス	同	同	三	四	割
五四三	〇 恆松隆慶君 是レハ長文デアリマスカラ、朗讀ハ省略セラレンコトヲ希望致シマス	同	同	三	四	割
五四四	〇 議長(杉田定一君) 朗讀ハ省略致シマス	同	同	三	四	割
五四五	〇 大藏大臣(法學博士阪谷芳郎君登壇)	同	同	三	四	割
五四六	御承知ノ通り、關稅定率法ハ、今日ヨリ大凡十年前ニ取調ベタモノデアリマシテ、此間ニ非常ニ此日本ノ工業商業ガ變化シテ居リマスル、從ヒマシテ現今關稅定率法ノ分類ニ依リマスル、別ニ稅目ヲ掲ケズシテ、其他トシテ一括シテ居ル科目ガアリマスガ、其他ト云フ中ニ籠ッタルモノ、中ニハ、大變大切ナルモノガアル、又特ニ掲ケテアルモノ、中ニ、一向大切デアリモノガアリマスルシ、又分類モ工業ノ進歩、商業ノ進歩ニ依ツテ、大變ニ當ヲ得ヌモノガ出來テ參リマシタ、然ルトコロ戰時ニ際シマシテ、是非非常特別稅ヲ課シマシタガタメニ、不公平ナル稅ノ上ニ、尙稅ノ課シ方ガ不公平ニナツテ來マシタ譯ニナリマス、取調ヲ致シマシタ結果、此度茲ニ提出致シマシタ次第デゴザイマシテ、其大體ヲ申シマシタ、原料ニ屬シマシタルモノヲ成ルベク廉ク致シマシテ、或ハ是全ク無稅ニシタモノモゴザイマス、ソレカラシテ又工業ノ進歩ニ伴フテ、既ニ日本デ其供給ニ堪ユルト云フヤウナ類ノモノハ、稅ヲ多少上ゲタモノモアリマス、其結果ト致シマシテ、稅ノ收入ニ於キマシテハ、約ソ一箇年ニ二百萬以上、二百六七十七萬位ハ此修正ノ結果トシテ増シマセウト考ヘマス、而シテ一體ノ課稅ハ之ガタメニ平均ヲ得テ、現今ノ程度ニ於ケル日本ノ工業商業ノ有様ニ、極ク適シタモノニナリマスル考デゴザイマス、ソレデ此稅法ガ通過致シマスレバ、非常特別稅法中ノ關稅ニ關スル部分ハ、米及粉ト稱スル、此二ツノ部類ヲ除キマシテ、他ノモノハ總テ非常特別稅中カラ除カレル勘定ニナリマス、米及粉ノ稅ハ、是ハ地租ノ問題ト關係致シマシタル事情ガゴザイマシテ、此地租ノ方ノ非常特別稅ノ方ヲ、修正スル場合デナイト、此米及粉ノ問題ヲ決定スル譯ニ參リマセヌ、ソレ故ニ今日茲ニ提出シテアリマスル定率法中ニハ、米ハ無稅トナツテ居リマス、無稅トナツテ居リマスガ、非常特別稅ノ一割五分ノ方ハ、其儘活キテ居リマスカラ、現今トソレハ少シモ變リガゴザイマセヌ、是ハ隨分關係ノ廣イ法律デゴザイマスルデ、十分慎重ナル御審議ヲ經マシテ、御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス	同	同	三	四	割

一九七

成田鐵道株式會社
東武鐵道株式會社
上武鐵道株式會社
房總鐵道株式會社
豆相鐵道株式會社
水戸鐵道株式會社
七尾鐵道株式會社
中越鐵道株式會社
豐川鐵道株式會社
關西鐵道株式會社
尾西鐵道株式會社
近江鐵道株式會社
參宮鐵道株式會社
京都鐵道株式會社
南海鐵道株式會社
西成鐵道株式會社
高野鐵道株式會社
阪鶴鐵道株式會社
山陽鐵道株式會社
中國鐵道株式會社
德島鐵道株式會社
九州鐵道株式會社
博多灣鐵道株式會社
前項ニ掲ケサル私設鐵道株式會社ニシテ本法發布ノ日ニ於テ未タ運輸ヲ開始セサルモノモ亦前條ノ規定ニ準シテ之ヲ買收スルコトヲ得
第三條 前條ニ掲ケタル各鐵道買收ノ期日ハ政府ニ於テ之ヲ指定ス
第四條 政府ハ兼業ニ屬スルモノヲ除クノ外買收ノ日ニ於テ會社ノ現ニ有スル權利義務ヲ承繼ス
但シ會社ノ株主ニ對スル權利義務、拂込株金ノ支出殘額並收益勘定、積立金勘定及雜勘定ニ屬スルモノハ此ノ限ニ在ラス
第五條 買收價額ハ左ニ掲クルモノトス
一 會社ノ明治三十五年後半期乃至明治三十八年前半期ノ六營業年度間ニ於ケル建設費ニ對スル益金ノ平均割合ヲ買收ノ日ニ於ケル建設費ニ乘シタル額ヲ二十倍シタル金額
二 貯藏物品ノ實費ヲ時價ニ依リ公債券面金額ニ換算シタル金額但シ借入金ヲ以テ購入シタルモノヲ除ク
前項第一號ニ於テ益金ト稱スルハ營業收入ヨリ營業費、賞與金及收益勘定以外ノ諸勘定ヨリ生シタル利息ヲ控除シタルモノヲ謂ヒ益金ノ平均割合ト稱スルハ明治三十五年後半期乃至明治三十八年前半期ノ六營業年度ニ於ケル建設費合計ヲ以テ同期間ニ於ケル益金ノ合計ヲ除シタルモノノ二倍ヲ謂フ
第六條 借入金ハ建設費ニ使用シタルモノニ限り時價ニ依リ公債券面金額

ニ換算シ買收價額ヨリ之ヲ控除ス
會社カ鐵道及附屬物件ノ補修ヲ爲サス又ハ鐵道建設規程ニ依リ期間内ニ改築若ハ改造ヲ爲サル場合ニ於テハ其ノ補修、改築又ハ改造ニ要スル金額ハ前項ノ例ニ依リ買收價額ヨリ之ヲ控除ス
第七條 資本勘定ニ屬スル支出ハ借入金ヲ以テシタルモノヲ除クノ外順次ニ建設費及貯藏物品ニ對シ之ヲ爲シタルモノト看做ス
借入金ノ支出ハ前項ノ支出ノ後ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス
第八條 會社カ明治三十八年前半期ノ營業年度末ニ於テ運輸開始後六營業年度ヲ經過シタル線路ヲ有セサル場合又ハ第五條第一項第一號ノ金額カ建設費ニ達セサル場合ニ於テハ政府ハ其ノ建設費以內ニ於テ協定シタル金額ヲ以テ第五條第一項第一號ノ金額ニ代フ
第二條第二項ノ規定ニ依リ買收ヲ爲ストキハ其ノ價額ハ建設費以內ニ於テ之ヲ協定ス
第九條 左ニ掲クル場合ニ於テハ政府ハ審查委員ヲシテ決定ヲ爲サシムヘシ
一 權利義務ノ承繼ニ關シ又ハ計算ニ關シ會社ニ於テ異議アルトキ
二 前條ノ場合ニ於テ協定調ハサルトキ
審查委員ノ決定ハ終局トス
第十條 買收ノ執行ハ審查委員ノ審查中ト雖之ヲ停止セス
第十一條 會社カ買收ニ因リテ解散シタルトキハ主務大臣ハ解散ノ登記ヲ登記所ニ囑託スヘシ
第十二條 買收代價ハ買收ノ日ヨリ二箇年以內ニ於テ券面金額ニ依リ五分利付公債證書ヲ以テ之ヲ交付ス但シ五十圓未満ノ端數ハ之ヲ五十圓トス
會社殘餘財產ノ分配ハ前項公債證書ヲ以テス
第十三條 政府ハ買收ノ日ヨリ公債證書交付ノ日ニ至ル迄買收價額ニ對シ一箇年百分ノ五ノ割合ニ相當スル金額ヲ從前ノ決算期毎ニ會社ニ交付スヘシ
前項ニ依リ交付シタル金額ハ清算中ト雖主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ株主ニ配當スルコトヲ得
第十四條 政府ハ鐵道買收ノ執行ニ必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行ス
第十五條 政府ハ前條ニ依リ發行シタル公債及第四條ニ依リ承繼シタル債務ノ整理ニ必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ利率、募集ノ方法、規約、据置年限及償還年限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
第十六條 前二條ノ公債ニ關シテハ本法ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外整理公債條例ヲ適用ス
第十七條 第五條第一項第二號及第六條ニ規定シタル公債時價ニ買收期日前六箇月間ニ於ケル帝國五十分利公債ノ平均相場ニ依ル
前項平均相場ハ日本銀行ノ證明ニ依リ政府ノ之ヲ定ム
第十八條 買收ヲ受クヘキ會社カ兼業ヲ營ム場合ニ於テハ其ノ兼業ニ屬スル資産ヲ併セテ買收スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ買收價額ハ協定ニ依ル

第九條乃至第十六條ノ規定ハ本條ノ場合ニ之ヲ準用ス

附則

第二條ニ揭クル會社ノ明治三十九年二月一日以後ニ於ケル貯藏物品ノ購入、建設費ニ増加ヲ生スヘキ施設及債務ノ負擔ニ付テハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ認可ヲ受ケサルモノニ付テハ政府之ヲ承繼セス但シ政府ハ價額ヲ査定シテ之ヲ承繼スルコトヲ得

○議長(杉田定一君) 内閣總理大臣

(内閣總理大臣侯爵西園寺公望君登壇)

○内閣總理大臣(侯爵西園寺公望君) 諸君、此鐵道國有法案ニ付キマシテ、茲ニ御カ諸君ノ清聴ヲ煩ハシマスカ、抑、我國ノ鐵道ニ於ケル鐵道國有ノ主義ハ、諸君モ御承知ノ如ク、敢テ今日ニ始マツタノデゴザイマセヌ、維新ノ當初ニ於テ、新橋橫濱間、及京都神戸間ノ鐵道ヲ起工致シマシタニ、端ヲ發イタノデゴザイマス、明治二十五年ニ鐵道敷設法ヲ制定ガアリマシテ、全國重要ナル線路ノ豫定ガ出來タノデゴザイマス、而シテ鐵道公債ヲ以テ之ヲ經營スルノ大綱ヲ明示セラレタノデゴザイマス、然レドモ鐵道ノ普及ハ經濟上軍事上、一日モ猶豫ノナラヌ急務デアッタニモ拘ハラヌ、當時財政ノ狀態ガ之ガ實行ヲ許サナカッタノデアリマス、ソレガタメニ一部ヲ民業ニ委スルノ政策ヲ執ッタノデゴザイマス、ケレドモ是ハ鐵道ノ速成ヲ圖ル權宜ノ措置ニ外ナラヌノデアリマシテ、所謂一時ノ便宜デアッタコトハ明白デアルと思ヒマス、故ニ民業ニ特許スルニ當ツデモ、皆行クノハ國有ニ歸セシムルノ條件ヲ保留シテ、其主義ヲ明カニシテゴザイマス、即チ明治二十七年八年戰爭後、大イニ官線ノ擴張ヲ計畫シマシテ、建設ニ改メニ巨額ノ國費ヲ投ジタノモ、亦以テ官營主義ヲ遂行ニ外ナラヌノデゴザイマス、又明治三十三年私設鐵道法ニ、民業買收ノ原則ヲ明示シタノモ同様デゴザイマシテ、我國ノ鐵道政策ハ、終始一貫シテ以テ今日ニ至ツタノデゴザイマス、(ヒヤノ)「ト呼フ者アリ」諸君、今や戰後ノ畫策ヲ立ツルトキニ當リマシテ、國富ノ充實ヲ圖リ、國力ノ發展ヲ期スルハ第一ノ要義ト考ヘマス、本大臣ハ曩ニ諸君ニ對シテ、大政ニ關スル所見ヲ陳述致シマスルトキニ、當リマシテ、產業ノ發達財政ノ鞏固ハ共ニ大ニ講究セザルベカラズト申シテ置イタノデゴザイマス、實ニ產業ノ盛衰消長ガ、運輸交通ノ如何ニアルト云フコトハ、論ヲ待タヌトコロデゴザイマス、然ルニ鐵道我國鐵道ノ現狀ヲ見レバ、如何ノ有様デアリマスルカ、官設ノ外ニ三十有餘ノ私設鐵道ガアツテ、北海道カラ九州ニ至ルマデ僅々二千哩ニ足ラヌ主要ノ幹線ニ於テスラ、尙官私數箇ノ管理ニ分レテ居リマス、其他官私大小ノ鐵道ハ各々區畫ヲ定メテ、割據シテ居ル有様デアツテ、其系統相錯綜シテ統屬スルコトコガアリマセヌ、其冗費ヲ來シ、材料ノ共通ヲ關キ、遠距離直通運輸ノ便ヲ妨グルガ如キ等、數ノ親易キモノデアリマシテ、運送費ノ不廉ナルガ如キ、又運輸ノ遲滯スルガ如キ、敢テ怪ムニ足ラヌデアリマス、鐵道國有ハ即チ之ヲ政府ノ經營ニ統一シマシテ、一方ニ於テハ、運輸ノ疏通ト運搬力ノ増加トニ依ツテ、生産力ノ勃興ヲ誘導スルノデアリマス、又他方ニ於テハ設備ト整備、營業費及貯藏品ノ節約ヲ計リマシテ、運送費ノ低廉ヲ期圖スルノデアリマス、而シテ更ニ國家財政ノ方面ヨリ見マシレバ、鐵道國有法案參考ノ實トシテ、諸君ニ配付シテ置キマシタ諸表ニ現ハレテ居ル通デゴザイマス、四十餘年後ニ至リマシテハ、公債ノ全額ヲモ償還シ盡ス次第デアリマス、鐵道國有統一ハ、實ニ民業ノ勃興ニ資スルハ申スマデモナク、財政ノ鞏固ヲ圖ル良策ノ一デアリマス、況ヤ軍事ニ關シマシテモ、偉大ナル效益ノアルコトハ云フマデモナイコトデアリマス、要スルニ我國ノ鐵

道政策ノ本旨ヲ貫徹スルハ、戰後經營ノ急務中ノ急務デアリマシテ、實ニ今日ヲ以テ逸スベカラザルノ好機ト考ヘテ居ルノデゴザイマス、韓國ニ於ケル鐵道ノ如キモ、私設鐵道、軍用鐵道並存シテ、其運用管理ニ於テ統一ヲ圖キマスルノハ、韓國經營上甚ダ遺憾ノコトデアリマス、夫ノ京釜鐵道ノ如キハ、同國鐵道中重要ナルモノデアリマシテ、一日モ此儘ニシテ置カレヌノデゴザイマス、因テ之ヲ國有ニ歸シテ、對韓政策ト支吾スルコトコナカラシムルハ又必要ノコト、考ヘマス、鐵道國有法案及京釜鐵道買收法案提出ノ理由ハ、略々前述ノ如クデアリマス、尙其詳細ノ事ハ、主務大臣ヨリ説明致サセマス、諸君、深ク國家得失ノアルトコロヲ御洞察ニ相成リマシテ、慎重審議、速ニ御協賛アラシコトヲ希望致シマス

○澤田寧君 質問ガアリマス 鐵道ヲ國有トスルコトハ原則トシテ居ル、ソレ故ニ年限ヲ附シテ以テ之ヲ許シテアル、是ハ一時ノ權宜デアツテ經費ガ許サナイ、費途多端ノ折柄デアアルカラシテ、已ムヲ得ズ、民間事業トシテ置イタノデアル、斯ウ云フ御趣旨ニ承ツタ、然ルニ此年限ノ盡キルヲ待タズシテ、サウシテ今之ヲ國有ニシナケレバナリナリト云フ理由ハ何レニアルカ、甚ダ了解ニ苦シム、何故ナラバ今日ヨリモ、尙經濟ノ裕ナル時代デアツテスラ、之ヲ政府ノ事業トシテヤルコトハ事情ガ許サナイ、其故ニ年限ヲ付シテ、民間ニ之ヲ敷設セラレタノデアル、今ハ戰爭ノタメニ多大ナル債務ヲ負擔シテ居ル、此場合ヲモ顧ミズシテ、今日ハ逸スベカラザル時機デアルト云フノハ、甚ダ了解シ得ナイ、ドウ云フトコロニ根據ガアルカ、第一ニ此事ヲ承リタイ、ソレカラ第二三二五年ト云フ 日本鐵道ノ如キハ五十年ト聞及シタ、其他ハ多クハ二五年ガ營業年限デアルト聞及シタ居ル、今や其年限ノ將ニ盡キントスル場合ニ當ツテ、此約束ヲモ顧ミズ、之ヲ買收セントスルノハ、即チ憲法第二十七條ニ抵觸シハセヌカ、或ハ私權ヲ蹂躪スルノデハナイカト云フ疑ガゴザイマス、尤モ但書ノ方ニ「公益ノ爲ニスル必要處分ハ法律ニ依ル」ト斯ウゴザイマス、或ハ公益ノタメニセラル、トノデアルト云フ趣意デアアルカ、第二ニ若シ公益ノタメニスル處分デアルトスレバ、今マデハ民間鐵道ヲ敷設セシメテ、公益ニ害ガナカッタ、今日以後ハ公益ニ害ガアルカラ法律ヲ設ケテ買收スルト云フノハ、如何ナル意味ニ基クノデアアルカ、此三點ヲ承リタイ、承ツタ後ニ著々質問シタイ箇條ガアリマスガ、先ツ此三點ヲ承リタク考ヘマス

(遞信大臣山縣伊三郎君登壇)

○遞信大臣(山縣伊三郎君) 唯今、御尋ニ御答ヲシマス、御尋ノ點ハ、私設鐵道法ニ二十五年ト規定シテアルカラ、此二十五年ヲ待タズシテ、今日之ヲ買收スルハ如何、第一ノ御尋ハ斯ウ考ヘマスガ、其今日之ヲ買收セバナラヌト云フ理由ハ、曩ニ總理大臣ヨリ述べラレタ通ノコトデアツテ、此殖產興業ノ發達ヲ圖リ、戰後ノ經營トシテ、今日最モ必要ナルモノデアアル、此鐵道統一ニ依ラザレバ十分其發達ヲ圖ルコトガ出來ヌト云フデアリマスカラ、今日之ヲ法律ヲ以テ買收スルト云フコトハ、別段差支ナイコトデアアラウト考ヘテ居リマス、ソレカラ此第二ノ期限ニ達スルモノガ、一二年ノ中ニアラウ、是ハ前段御尋ニ對シテ御答シタモノヲ以テ御分リニナルコト、考ヘマスカラシテ、別段憲法ノ上カラ申シマシテモ、敢テ差支ナイト考ヘマス、此段御答ヲ致シマス

○脇榮太郎君 私人些細ナル質問デアリマスガ、質問ヲ致シマスル、要領ヲ申シマスル以前ニ、テ案ヲ附言致シテ置キマス、全體此法案ハ大シタル法案デアツテ、熟讀ヲ致シマシテ、審案ヲ致シマシテ、能ク利害ヲ考ヘマシテ、決議致シタイ考デアリマス、他ノ案ト雖モデスカ、況ヤ此案ハ別シテ大切ニ考ヘル、併ナガラ今日ノ日程ニ午後三時ト切ツテアル如ク、辛ウジテ衆議院規則ニ籍シテ居ルヤウナ順序ニナツテ居ル場合デアアル、幸ニ新

開て見ハ致シマシタガ、新聞ニ書イテ居ルノハ或ハ間違ヒハセヌカト考ヘル詰リ……

○議長(杉田定一君) 質問ノ要領ヲ……

(質問カ討論カ又ハ「贅辯」ト呼フ者アリ)

○脇榮太郎君 質問デス、ソレデ私ノ考ハ……贅辯ト云ヘハ贅辯アリマスガ、ソレニ從テ置キマシテ、私ハ度々起立ヲ致シマセヌ、併シ贅辯ト仰シヤレバ時間ガ貴重アリマスカラ譲リマスガ、私ノ唯今申上ゲタモ、成ルベク平素質問ヲ致サナイヤウニ熟視致シテ、自分デ書イタ位ハ分ルヤウニシテ纏メタイト考ヘマス、然ルニ是ハ實ニ熟視致スベキ暇ガ無カラ、其故ニ茲ニ御尋ネスルノアリマスガ、私ノ質問ノ要領ハ附則ニアリマスコトデアリマスガ、二十九年二月一日以後ニ云々トアリマスガ、是ハ事柄ニ依リマス、貯藏物品ニ至リマシテハ、繼續致シテ居ルモノニ付イテハ、建設費ハ宜ウゴザイマス、貯藏物品ニ定致シテ居ルモノデゴザイマス、テ本條ニハ關係ヲ致サヌコト、考ヘテ宜イノデアアルカト云フコト、ソレカラ二月一日以後ト申シマス、今日ハ三月六日デアリマス、其間ニ執行致シマシタコトハ、何時其認可ノ手續ヲ致シマスノデアリマス、ソレニハ但書ガアリマス、(前項云々)ト云フコトモアリマス、前ニ申シマス通ニ、見落シテ居ルカ存ジマセヌガ(分ラヌト)呼フ者アリ分ラヌ人ハ宜イ、政府ノ方デ分レバ宜イ、分ラヌ人ハ默シテ聽イテ居ルハ宜イ、政府ノ方デ分レバ宜イ、餘計ナコトヲ言フカラ長クナル、默シテ居ラシヤ、ソレデ第九條ノ中ニ「審査委員ノ規定」ト云フコトガアリマス、此二月一日以後ニ運ビマシタコトハ、認可ヲ受ケル手續等ニ付イテ勅令ヲ以テ定メラレト云フコトモアリマセヌガ、ドウ云フ手續ヲスルカ、ソレデケリタイ

○逓信大臣(山縣伊三郎君) 御答致シマス、附則ニアリマス二月一日ヨリト云フノハ、既ニ既往ニ屬シテ居リマスガ、認可ハ之ヲ實行スル場合ニ於テ與ヘルコトニ致シマス

○橋本久太郎君 質問ガアリマスガ、宜シウゴザイマス

(「登壇々々」ト呼フ者アリ)

(橋本久太郎君登壇)

○橋本久太郎君 簡單ナ質問デゴザイマスケレドモ、登壇ト云フコトデ登壇シマシタ、此鐵道國有ニ付キマシテ、之ヲ買收スル價格並ニ其手續等ニ於テハ略々條項ハ備シテ居ルヤウニ見受ケマス、又未ダ運輸ヲ開始セザル鐵道ニ於テモ、之ニ準ジテ買收スルト云フコトモ掲ゲラレテ居リマス、ガ然ルニ或ハ茲ニ關シテ若クハ不備ナイカト感ゼラル、トコロノ事柄ガアル、ソレハ何デアアルカト申シマス、即チ假免狀ヲ下附セラレテ而シテカラニ測量ニ著手シ、殆ド測量ヲ終ヘテ居リマシテ、本免狀ヲ請求スルヤウニ運シテ居ルモノモアル、又政府ニ於テモ本免狀ヲ下附スルヤウナ考ヘマシタ居ル、隨分鐵道ガ澤ンアリマシテ、而シテソレ等ニ於テハ假免狀ヲ下附セラレテ以來、數多ノ測量費用ヲ要シテ、居ル……經費ヲ要シテ居リマスガ、併ナガラソレニ對シテ政府ハ何等ノ買收スベキ條項ガ是ニ見エテ居リマセヌ、ソレデ第二條ノ末項ニ於キマシテ、運輸ヲ開始セザル云々ト云フコトニ付イテ、之ヲ買收スルコトヲ得ルト云フコトハ書イテゴザイマスケレドモ、未ダ買收スベキモノハナイノデアリマス、サリナガラ之ガタメニ、數多ノ經費ヲ要シ、測量費用ヲ要シテ居ルモノハ、國家トシテ其儘ニ所謂切捨テルト云フコトハ出來マイト思ヒマスガ、之ニ對シテ政府ハドウ云フ處分ヲセラレマス、明カニ明答ヲ得テ置キタイと思ヒマス

(逓信大臣(山縣伊三郎君) 唯今橋本君ノ御尋デアリマスガ、未ダ會社ノ成立テ

居ラヌモノハ、此中ニ包含シテ居リマセヌ

○橋本久太郎君 會社ハ成立テ居ラヌデモ、既ニ假免狀ヲ下附シテ、サウシテソレニ相當ノ經費ヲ要シテ居ルト云フコトハ、逓信省モ認メテ居ラル、ト、私ハ信ズルガ、ソレ等ニ對シテ國家ハ捨テ、顧ミヌト云フノハ、或ハ酷デハナイカト思ヒ、又不當ノ處分デハナイカト考ヘラレマス、明カニ承リタイ

(逓信大臣(山縣伊三郎君) 登壇)

○逓信大臣(山縣伊三郎君) ソレハ橋本君ノ御議論トシテ……御意見トシテ御提出ニナルノハ免二角、此法案ノ中ニハ書イテアリマセヌ

○菊池武徳君 質問ガアリマス

○議長(杉田定一君) 質問ナラバ登壇ナサイ

(菊池武徳君登壇)

○菊池武徳君 登壇シテ質問スル程ノコトデアリマセヌガ、唯今ノ總理大臣ノ御演說ノ中ニ、鐵道國有ハ財政ノ基礎ヲ鞏固ナラシムル道デアルト云フコトヲ、最後ニ仰シヤタルデアアル、是ハ其意味ハ私ニハ誠ニ明瞭ニナリマセヌガ、大臣ノ趣意ハ産業ヲ發展シテ、國力ヲ涵養スル、間接ノ財政ノ基礎ヲ鞏固ナラシムルノ御趣意デアアル、又ハ直接ニ鐵道ヲ官有ニシテ、ソレヲ抵當ニシテ公債ヲ募集スルト云フヤウナ、財政上ノ運用ノ途ニ供スルト云フノデアアル、若クハ二者併セテ行フノ便宜ナル途デアルト云フノデアアル、ソノコトコロヲ明カニシテ置キタイノガ第一點、ソレカラモウ一ツハ此鐵道法案ニ據テ買收セラルトコロノモノハ、分テ居ルガ、此中ニハ未成線モ澤ンアル、此未成線ヲハイツ建築ニ取掛ケ、サウシテ其建築ノ財源ハドウカラ持テ來ルノデアアル、矢張是ト同シヤウニ鐵道公債ヲ起スノデアアル、若クハ敷設法ノ中ニ葬テシマウノデアアル、其邊ノ未成線ニ對スル處置ヲ一應伺フデ置キタイと思フノデアアル

(内閣總理大臣(西園寺公望君) 登壇)

○總理大臣(西園寺公望君) 今ノ菊池君ノ御質問ニ答ヘマス、財政ヲ鞏固ニスルト云フコトハ、即チ第一問ノ間接ニ鞏固ニスルト云フコトデゴザイマス、又新タニ此四十四年ノ後ハ總テ是ニ對スル公債ヲ爲シ遂ゲルノデアリマス、是ニ關スル財政モ鞏固ニナルト云フコトデゴザイマス、其他ノ御質問ハ主務大臣ヲシテ御答ヲ致サセマス

(逓信大臣(山縣伊三郎君) 登壇)

○逓信大臣(山縣伊三郎君) 唯今未成線ニ付イテノ御尋デアリマスガ、是ハソレゾレ計畫ヲ立テ、更ニ其相當ノ時期ニ出ス積リデアリマス、(菊池武徳君) マダ未定デスカト呼フマダ未定デアリマス

○議長(杉田定一君) 日程第十四、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ移リマス

第十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○長谷場純孝君 此問題ハ大變關係ノ大ナル問題デアリマス、四十五名ノ委員ヲ議長指名テ選舉サレンコトヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 長谷場君ノ發議ニ依リ、四十五名ノ委員、議長指名ト云フコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、日程第十五、京釜鐵道買收法案第一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀

第十五 京釜鐵道買收法案(政府提出)

第一讀會

京釜鐵道買收法案

第一條 政府ハ本法ノ規定ニ依リ明治三十九年ニ於テ京釜鐵道株式會社所屬ノ鐵道ヲ買收スヘシ

第二條 政府ハ買收ノ日ニ於テ會社ノ現ニ有スル權利義務ヲ承繼ス但シ會社ノ株主ニ對スル權利義務並收益勘定、積立金勘定及雜勘定ニ屬スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第三條 買收價額ハ左ニ掲グルモノトス
一 拂込株金ノ六分ニ相當スル金額ヲ二十倍シタル金額
二 京仁線ニ於ケル明治三十五年後半期乃至明治三十八年前半期ノ六營業年度間ニ於ケル建設費ニ對スル益金ノ平均割合ヲ買收ノ日ニ於ケル建設費ニ乘シタル額ヲ二十倍シタル金額

前項第二號ニ於テ益金ト稱スルハ營業收入ヨリ營業費及收益勘定以外ノ諸勘定ヨリ生シタル利息ヲ控除シタルモノヲ謂ヒ益金ノ平均割合ト稱スルハ明治三十五年後半期乃至明治三十八年前半期ノ每營業年度ニ於ケル建設費合計ヲ以テ同期間ニ於ケル益金ノ合計ヲ除シタルモノノ二倍ヲ謂フ

第四條 會社ニ於テ填補スヘキ社債發行ノ差損金ハ會社ノ負擔トス
第五條 左ニ掲グル金額ハ時價ニ依リ公債券面金額ニ換算シ買收價額ヨリ之ヲ控除ス
一 京仁線ニ於テ填補スヘキ社債發行ノ差損金ハ會社ノ負擔トス
二 京仁線ノ債務ニシテ政府ヘ返還スヘキ金額

前項第二號ノ金額ハ買收ノ日ヲ以テ年五分ノ單利引法ニ依リテ之ヲ算定ス
第六條 會社カ鐵道及附屬物件ノ補修ヲ爲ササル場合ニ於テハ其ノ補修ニ要スル金額ハ前條第一項ノ例ニ依リ買收價額ヨリ之ヲ控除ス
第七條 權利義務ノ承繼ニ關シ又ハ計算ニ關シ會社ニ於テ異議アルトキハ政府ハ審查委員ヲシテ決定ヲ爲サシムヘシ

審查委員ノ決定ハ終局トス
第八條 買收ノ執行ハ審查委員ノ審査中ト雖之ヲ停止セス
第九條 會社カ買收ニ因リテ解散シタルトキハ主務大臣ハ解散ノ登記ヲ登記所ニ囑託スヘシ

第十條 買收代價ハ買收ノ日ヨリ二箇年以内ニ於テ券面金額ニ依リ五分利付公債證書ヲ以テ之ヲ交付ス但シ五十圓未満ノ端數ハ之ヲ五十圓トス
會社殘餘財產ノ分配ハ前項公債證書ヲ以テス

第十一條 政府ハ買收ノ日ヨリ公債證書交付ノ日ニ至ル迄買收價額ニ對シ一箇年百分ノ五ノ割合ニ相當スル金額ヲ從前ノ決算期毎ニ會社ニ交付スヘシ
前項ニ依リ交付シタル金額ハ清算中ト雖之ヲ株主ニ配當スルコトヲ得

第十二條 政府ハ買收ノ執行ニ必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行ス
第十三條 政府ハ前條ニ依リ發行シタル公債及第二條ニ依リ承繼シタル債

務ノ整理ニ必要ナル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ利率、募集ノ方法、規約、据置年限及償還年限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 前二條ノ公債ニ關シテハ本法ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外整理公債條例ヲ適用ス
第十五條 第五條ニ規定シタル公債時價ハ買收期日前六箇月間ニ於ケル帝國五分利公債ノ平均相場ニ依ル

前項平均相場ハ日本銀行ノ證明ニ依リ政府之ヲ定ム
〔朗讀ヲ略スベシ朗讀ヲ略スベシト呼フ者アリ〕
○議長(杉田定一君) ヲレテハ朗讀ヲ省略シマス——別ニ説明ガナイヤウデアリマス

○議長(杉田定一君) 第十六、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ニ移リマス
第十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
○議長(杉田定一君) 是ハ鐵道國有ノ特別委員四十五名ニ付託サレンコトヲ希望致シマス

〔贊成ヤ々ト呼フ者アリ〕
○議長(杉田定一君) 長谷場君ノ發議ノ通、前鐵道國有ノ委員ニ付託スルト云フコトニ付イテ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト聲起ル〕

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイモノト認ママス、日程第十七、郡制廢止法律案第一讀會、朗讀ヲ省略致シマス

第十七 郡制廢止法律案(政府提出) 第一讀會
郡制廢止法律案
郡制ハ之ヲ廢止ス

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
法律ノ規定中郡參事會ノ權限ニ屬スル事項ニシテ特ニ規定ヲ要スルモノ其ノ他郡制ノ廢止ニ伴ヒ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
從來郡及郡組合ニ屬スル財產、營造物、事業及權利義務ノ處分ハ關係アル府縣參事會ノ意見ヲ徵シ內務大臣之ヲ定ム

〔內務大臣原敬君登壇〕
○內務大臣(原敬君) 郡制廢止法律案ニ付イテ、簡單ニ理由ヲ説明致シテ置キマス、是ハ屬此議場ニモ現ハレタ問題デアリマスカラ、サマデノ説明ヲ費サズシテ、諸君ガ御了解デアラウト思ヒマスガ、政府ノ見ル所デハ、此郡自治體ノ階級ヲ除キマシテ、行政ノ組織ヲイクラカ簡便ニ致サウト考ヘルノト、又是ニ依リテ起ルトコロノ費用ヲ削減致シタイト考ヘマスルニ過ギヌデアリマス、願クハ相當ニ御審査ノ上可決セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 日程第十八、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ニ移リマス
第十八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恒松隆慶君 是ハ二十七名ノ委員ヲ、議長指名アラントラ望ミマス
〔贊成ト呼フ者アリ〕
○議長(杉田定一君) 恒松君ノ發議ノ通、二十七名ノ委員議長指名ニ御異議ハゴ

ザイマセカ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス。日程十九、郡制廢止法律案第一讀會ニ移リマス、議案ノ朗讀ハ省略シマス

第十九 郡制廢止法律案(尾見濱五郎君外二名提出) 第一讀會

郡制ハ之ヲ廢止ス

○尾見濱五郎君 此問題ニ付キマシテハ、前期以來本院ノ宿論アリ、否ナ、國家ノ宿論アリ、數回提出ラシテ、委員會ニ於テモ、可決ニナラズ居ルカシテ、滿場ノ諸君ハ此改正スベシト云フ理由ハ、十分御承知ノコト、考ヘラレマス、且政府モ大ニ茲ニ顧ミルトコロガアテ、今期ハ政府自カラ本案ヲ提出サレマシテ、唯今内務大臣タルモノガ、隨分懇篤ニ理由ヲ御述ベニナリマシタ、因テ私ハ茲ニ提出ノ理由ヲ省クト云フコトヲ、一言申上ゲテ置キマス

○恆松隆慶君 此案ハ前ノ委員ニ付託サレシコトヲ望ミマス

(賛成ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 恆松君ノ發言ノ通、本案ヲ前ノ委員ニ付託スルト云フコトニ付イテ、御異議ハゴザイマセカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス。日程第二十、新聞紙條例中改正法律案第一讀會ニ移リマス、議案ノ朗讀ハ省略シマス

第二十 新聞紙條例中改正法律案(荒川五郎君外一名提出) 第一讀會

新聞紙條例中改正法律案

第十五條 新聞紙ニ記載シタル事項ニ付キ裁判ヲ受ケタルトキハ其新聞紙

ノ次回發行ニ於テ該宣告文ヲ掲載スヘシ
前項ニ依リ掲載スヘキ宣告文ノ範圍ハ裁判所之ヲ定ム

(荒川五郎君登壇)

○荒川五郎君 手短ニ新聞紙條例中改正法律案ノ提出ノ趣意ヲ申上ゲマス、總テ法律ハ社會ノ安寧ヲ守リ、秩序ヲ保持シ、又ハ軍事上外交上ノ必要ニ應ジテ、ソレヲ秘密ヲ保ツコトハ、國家ノ必要上ツレト規定セラレテゴザイマス、新聞紙條例中ニ於テ、若シ新聞紙ニ記載シタル事項ニ付イテ、裁判ヲ受ケタル時分ニハ、其裁判ノ宣告文ヲ理由ノ中ニハ、ドウ云フコトコロカ外交ノ秘密ヲ破ツタカ、ドウ云フトコロカ軍事ノ秘密ヲ破ツタカ、或ハ風俗ヲ壞リ、秩序ヲ害シタルコトヲ云フヤウナ事ヲ、此裁判宣告ノ理由書ノ中ニハ詳シク書イテゴザイマス、其書イテアルコトコロノ理由書其モノヲ合セテ、新聞紙ニ掲載セバナラヌコトヲ居リマス、裁可ヲ却テ裁判ヲ以テ、其宣告文ヲ新聞紙ニ掲載スベキ、其箇條ヲ以テ却テ世人ヲ軍事外交ノ秘密ニ注意ヲ與ヘル、或ハ風俗ヲ壞ルノ如キハ、一層見ニクキ醜文字ヲ新聞紙上ニ二度出サネハナラヌト云フヤウナコトナリマス、殊ニ此度ノ戰爭ノ如キニ當リマシテハ、新聞紙ハ皆國家ノため、皆赤誠ヲ瀝イデ、新聞記事ニハ注意ヲ致シテ、國民ノ一致ヲ獎勵シ、又其記事ガ軍事ノ秘密ナドヲ許イテハナラヌト云フコトハ、皆心ニ銘シテ

居ルコトデゴザイマス、ノ拘ハラズ、時々ツレガタメニハ其省令違反ニ依テ罰セラレタモノガゴザイマス、既ニ此戰爭中ニ、此條例デアレ、省令違反デ罰セラレタモノガ、殆ド四百件近タモゴザイマス、ソレ等ノ人ハ皆軍事ノ秘密、外交ノ秘密ヲ許カウト云フ惡意ハ更ニナインミカ、此タメニハ十分ニ盡サウト云フ精神ハアツタニモ拘ハラズ、四百件ニモ上ル、サウ云フ條例違反ナンドガゴザイマシタルコトヲ云フコトハ、實ニ新聞ヲ書ク當時ハ、決シテ是ガ軍事ノ秘密ヲ破リ、外交ノ秘密ヲ妨ゲタモノデナイト信ジテ、書イタニモ拘ハラズ、罰セラレ、其罰セラレタ裁判ヲ見テ、世間ノ人ハ又大ニ注意ヲ喚起スルヤウナ有様ニナラ、デゴザイマス、ソコデサウ云フヤウニ裁判ノ理由ノ中ニ、風俗ヲ壞ルベキ澤山ノ文字ガアリ、或ハ軍事外交ノ秘密ヲ破ルヤウナ箇條ガ其理由ノ中ニ澤山アルト云フヤウナ場合ニハ、其理由デケハ削リテシマ、新聞ニ掲載セラル、唯其主文ノミヲ掲載ルトカ云フヤウニ致シタナラバ、一方デハ新聞紙條例ノ目的ヲ立テ、一方デハ軍事外交ノ秘密、風俗ヲ壞ルノ防護ヲ致スコトガ出來ヤウカト考ヘマシテ、裁判宣告ノ全文ト云フ、全文ヲ削リマシテ、サウシテ其取捨ヲ裁判所ニ一任シタイト云フ、本案ノ精神デゴザイマス、ドウカ滿堂諸君ノ御賛成ヲ祈リマス

○花井卓藏君 反對ノ意見ヲ述ベマス

(委員付託)又(付託ノ必要ハナイト呼フ者アリ)

(花井卓藏君登壇)

○花井卓藏君 諸君、本期ノ讀會ニ於テ、議員ヨリ提出セラレマシタ議案中、最モ惡案ハ是デアル、(笑聲起ル)併ガガラ惡案ヲ以テ迎フルト云フコトハ、言葉ノ上ニ於テ多クノ敬意ガ拂テアルデアル、適切ニ申セバ是程ノ惡案ハナシ、是程ノ劣案ハナシト私ハ信スル、(然リ)「ト呼フ者アリ」帝國憲法ノ第五十九條ニハ「裁判ノ對審判決ハ之ヲ公開ス」ト書イタル、裁判事件ノ公判及判決ト云フモノハ、公ケニシテ開カケレバナラヌト掲ゲラレタルデアル、而シテ「安寧秩序又ハ風俗ヲ害スルノ虞アルトキハ、法律ニ依リ又ハ裁判所ノ決議ヲ以テ對審ノ公開ヲ停止スルコトヲ得」ト書イタル、即チ公判ノ公開ト云フモノハ停止スルコトガ出來ルト云フ事柄ガ書イタル、ソレ故ニ如何ナル場合ニ於テモ、憲法ハ裁判宣告ト云フモノハ、公ケニシタケレハナラヌト云フコトハ認メテ居ルノデゴザイマス、本案ハ何デアル、裁判宣告ト云フモノ、制限ノ權利ヲ裁判權ニ與ヘヤウト云フノデアル、憲法ハ與ヘナシトスウ云フノデアル、此惡案此劣案ハ憲法ノ條規ヲ案付トシテラレテ、日時ヲ費シテ審查ヲ致ス事柄ニ相成リマス、若シ是ラデス、委員ニ愚案ヲ濫發スルト云フノ惡慣例ヲ貽ス虞ガアルデアル、又彼等如キノ案ヲ政府當局者ト爭ウタナラバ、議院ノ法律智識ト云フモノハ、彼ガ如クニ淺薄デアルカト云フテ侮ラルルトコロノ惡慣例ヲ貽ス種ト相成ルデアル、殊ニ況ヤ荒川五郎君——敬愛スベキ荒川五郎君ハ新聞記者デアル、新聞記者デアルナガラ、新聞紙ガ當然ニ有ベキ權利ヲ、好シデ自カラ縮メタルト云フヤウナコトヲセラル、ト云フコトニ相成リマシタ、御管理ノ新聞ノ前途ガ甚ダ御氣ノ毒ニ存ズルデアル、(笑聲起ル)演壇ニ登ッテ演説ヲ致スト云フデケハ、私ノ友人ニ對スル多大ノ敬意デゴザイマス、全體ナラバ議席ニ於テ質問ヲ一發致シマシタナラバ、自然ニ潰レベキ案デゴザイマス、何事デモ委員付託ヲ々々ト云フヤウニ、例ニナルコトハ喜ビマセマカラシテ、此決議ノ下ニ、直チニ本案ヲ否決セラレンコトヲ希望致シマス

(賛成ト呼フ者アリ)

○恆松隆慶君 是ハ花井君ハ頗ル愚案ト云ウテ、否決ヲ主張セラレマシタガ、愚案デアルカ否ヤハ、委員ニ託シテ十分調査シタガ穩デアラウト思ヒマス、九名ノ委員ヲ職

長指名アランコト望ミマス
○議長(杉田定一君) 恆松君ノ委員附託説ガ先決問題アリマスカラ、其方ヲ先ニ決シテ採リマス、恆松君ノ九名ノ委員ヲ議長ノ指名ニスルト云フ、是ニ御同意ノ御方ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 多數アリマス、日程第二十一、癩病豫防法中改正法律案第一讀會、議案ノ朗讀ハ省略致シマス

第二十一 癩病豫防法中改正法律案

第一讀會

癩病豫防法中改正法律案

第十八條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ國庫ハ其ノ半額以內ヲ補助スルコトヲ得
第十九條削除

附則

本法ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔漢名信平君登壇〕

○漢名信平君 本案提出ノ大意ヲ提出者ニ代テ申述ベマス、癩病豫防法中改正法律案ト云フモノハ、豫テ御手許ニ迴テ居リマス、是ハ昨年ノ二月カ發布セラレタ法律案、其第十八條ニ但書ヲ加フルコトハ、御手許ノ案ニアリマス通、國庫ハ其半額以內ヲ補助スルコトヲ得ルト、コレカラ第十九條ハ削除スルト云フ案デゴザイマス、此大要ヲ聊カ述ベヤウト思ヒマスガ、抑、此豫防法ニナリマス前ニハ、癩病検査法ト云フモノガゴザイマシテ、癩病ノ豫防法ニ付キマシテハ、隨分當局者モ注意セラレ、旁十分ナル手續ハ盡シテアタノデゴザイマスガ、尙癩病ノ上ニハ諸種ノ病毒ヲ生ズル結果ト致シマシテ、癩病豫防法案ト云フ完全ナル法案ガ出タノデアリマス、其法案ニ付キマシテハ、固ヨリ此病毒ヲ豫防スルニ十分ナル成績ヲ奏シテ居ルコトデゴザイマスガ、惜テ此費用ノ一點ニ至リマシテ、甚ダ僅カノコトデゴザイマスケレドモ、是ヲ實地ニ施行スルニ當テ、甚ダ此事業ニ妨ラスル恐れガアルコトデ、抑、此癩病ノ製造ノ高等ヲ調ベマスレバ、僅カニ全國デ五百万枚位ノコトニ聞イテ居リマス、デゴザイマスカラ、概算、是ヲ代價ニ積リマスレバ、五六百万圓ノ價格ヲ有スルコトデゴザイマス、ケレドモ此癩病ガ元トナテ、即チ此日本ノ貿易上ニ占メテ居ルコトコノ、武器トナテ居ル癩病ノ輸出ノ金高、竝ニ内地デ以テ使用スルコトコノ、消費高等ヲ調ベマスルト、殆ド一億六七千万圓ノ生産力ヲ持テ居ル位ノ結果ニナテ居リマスデゴザイマスカラ、其癩病ノ製造ト云フコトニ付イテハ、餘程注意シテヤラケレバナラス、所ニ持テ參リマシテ、癩病ノ點ニ付イテハ、検査法ヨリモ此豫防法ノ方ガ宜シウゴザイマスケレドモ、既ニ此豫防法ノ點ニ付イテハ、補助ト云フモノヲ削除セラレテ居リマスデ、是ニ付イテハ、幾多ノ地方ニ困難ヲ來シテ居ルノデアリマス、即チ此豫防法ニ付キマシテハ、地方ニ向ヒマシテ、全然地方ノ支出ト致シマシタメニ、國庫ノ保護ト云フコトハ一ツモナイノデ、地方ノ狀況ヲ見マスレバ、即チ總會ニ於キマシテハ其結果ト致シマシテ、或ハ手数料ヲ取リ、或ハ又地方ニ依リマシテハ、手数料ヲ徵收シナイ所モアルト云フヤウナコトデゴザイマシテ、手数料ヲ取ラレタ結果ハ、癩病製造者ニ幾多ノ苦痛ヲ感ゼシメル、苦痛ヲ感ゼシメルカラシテ、自然ト此

製造ニ付キマシテモ、粗造ノ恐れガアルト云フヤウナ結果ニナテ參リマス、是ガ甚ダ小問題ニシテ、其實大問題デゴザイマスデ、從前検査法ノ時代ニゴザイマシタ通、此第十八條ノ但書ニハ、即チ國庫ハ其半額以內ヲ補助スルコトヲ得ルト云フヤウナ明文ヲ加ヘマシテ、即チ此検査手数料ト云フモノハ、全然全廢致スコトニ致シタイト云フノガ、本案提出ノ趣旨デゴザイマス、願クハ此案ニ付キマシテハ、尙特別委員會ニ於テ十分ナル説明ヲ致シマスルガ、ドウカ一ツ此案ニ付イテ、御賛成ヲ得テ特別委員會ノ手ニ付イテ、十分ニ當局者ト向研究ヲシテ見タイト思ヒマスカラ、御賛成ヲ願ヒマス
○恆松隆慶君 本案ハ九名ノ委員 議長指名アランコトヲ願ヒマス
○議長(杉田定一君) 恆松君ノ發議ノ通九名ノ委員、議長指名ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、第二十二、裁判所構成法中改正法律案第一讀會、議案朗讀

第二十二 裁判所構成法中改正法律案(加瀬禮逸君)

第一讀會

裁判所構成法中改正法律案

第六十五條第二項ヲ創ル

附則

此ノ法律施行前ノ帝國大學法科卒業生ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ九十日以内ニ試験ヲ命ゼラル、コトヲ得

〔加瀬禮逸君登壇〕

○加瀬禮逸君 諸君、私ハ此裁判所構成法改正法律案提出者ノ一人ト致シマシテ、此提出ノ趣意ヲ辯明致サウト思フ、實ハ是ハ或ハ諸君中、殊ニ反對ヲセラル、方ガアルカモ知レマセヌノデ、十分ニ私ノ理由ト云フモノヲ申述ベヤウト思ヒマシタガ、最早時間モ四時ニ垂テスル場合デゴザイマスカラ、極メテ簡單ニ申述ベヤウト思フ、私ガ改正ヲ致シタイト云フ箇條ハ、唯今書記ヨリ朗讀ニナリマシタ通、現行法ノ第六十五條ノ第二項ヲ削除スルト云フコトデ、其要ハ帝國大學ノ法科卒業生ニ、無試験ニテ司法官候補ニ採用スルノ規定ヲ廢シテ實ヒタイ、此私ガ特權ヲ廢止スト云フコトヲ、諸君ト共ニ議定シタイト云フコトハ、何モ此法科大學ノ卒業生ニ對シマシテ、私ガ恩恩ノ關係ヲ持テ居ルモノデモ何デモナイ、唯司法官ニ成ルベク良材ヲ入レタイト云フ、即チ人材登用ノ上ニ於テ、極メテ優秀ヲ選出シタイト云フノガ、私ノ趣意デゴザイマス、無論現行法ノ第五十七條ニ據リマスレバ、司法官トナル即チ判事、檢事トナルニ付キマシテハ、二回ノ競争試験ヲ受ケルコトガ規定セラレタル、其中ニ唯取除ケニナテ居リマスノハ、三年以上法科大學ノ教授ヲナサレタ方、又三年以上辯護士ノ業ニ居ラレタモノガ、無試験ニテ本官ニナル、裁判官ニナルノデアル、其次ニ於キマシテ、今ノ私ガ削除ヲ求メタイト云フノハ、第六十五條ノ二項即チ法科大學卒業生ガ、無試験ニテ試験ニ補ニ其儘ニナレルト云フコトニナテ居ルノデアリマス、勿論三年以上法科大學ノ教授ヲナサル、ト云フ御方ハ、免ニ角國家最高ノ學校ニ於キマシテ、一定ノ期間教授ヲ執ラレテ居ルノデアリマスカラ、先テ學理ノ蘊奧ヲ極メタモノト見テ差支ナカラウト思フ、又三年以上辯護士ヲヤルニハ、其初メニ當リマシテ、矢張司法官ト同一ノ試験ヲ履ンデ來タ者デ、而モ實務ノ種

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○議長（杉田定一君） 日程第二十三、辯護士法中改正法律案、第一讀會、議案ノ朗讀ハ省略致シマス

第二十三
辯護士法中改正法律案（加瀨禧逸君外四名提出）
第一讀會

辯護士法中改正法律案

第四條第二號中「帝國大學法律科卒業生、舊東京大學法學部卒業生、司法省舊法學校正則部卒業生」ヲ削ル

附則

現在ノ帝國大學法律科卒業生、舊東京大學法學部卒業生、司法省舊法學校正則部卒業生ハ本法施行ノ日ヨリ六十日以内ニ辯護士名簿ニ登錄ヲ請フトキハ試験ヲ要セスシテ辯護士タルコトヲ得

○恆松隆慶君 是ハ前ノ委員ニ付託セラレシコトヲ願ヒマス
○議長(杉田定一君) 本案ハ前ノ委員ニ付託シテ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○恆松隆慶君 二十四、二十五ハ一括シテ問題トセラレンコトヲ願ヒマス
○議長(杉田定一君) 第二十四、治水ニ關スル建議案、委員長報告

第二十四
治水ニ關スル建議案(佐々木正藏君外
十三名提出)
(委員長報告)

○恆松隆慶君 二十四、二十五一括シテ議題トセラレシコトヲ願ヒマス

〔二括異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 二十四、二十五ハ併セテ報告ヲセラルマスヤウニ
〔植場平君登壇〕

々ナル機關ニ當リマシタル以上ハ、實際ニ於キマシテ、所謂社會ノ風浪ニ漂ウテ、酸モ甘イモ承知ノ上デ出來テ居リマスカラハ、ツレハ同一ノ試験ヲ再ビ行フ必要ハナイカラ、無論差支ハアリマスマイガ、獨リ大學ノ卒業生デアルカラト云フデ、唯之ヲ學校ヲ飛出シテ、直ク高等官ト云フ而モ司法權ヲ取扱ハシメル裁判官ニスルト云フコトハ、私ハ實ニ慎重ナケレバナラヌコトデアルト思フノデアル、勿論現行法ガ是ヲ制定シタル當時ノ趣意ヲ見マシタナラバ、免モ角モ或ハ一ツノ理由ガアツタラウト思フ、此理由ハ長クナルカラ、此處デハ申シマセヌ、ツレハ大學ノ卒業生ハ、私立學校ノ卒業生ヨリモ、其實力ニ於テ優ツテ居ルデアラウト云フ立法者ノ豫斷、是ガ當時ハ餘リ法律上ノ知識アルトコロノ、裁判官ニ乏シカタガ故ニ、大學ヲ卒業シタト云フ、所謂新知識ヲ修養サレタルトコロノ、卒業生ヲ司法部ニ迎ヘタイト云フ、一ツノ希望カラ所謂政策上ノ必要カラ出タモノト思ヒマスガ、私ハ時勢ノ進運ニ連レマシテ、此二ツノモノハ深く心配スルニ及バナイノミナラズ、寧ロ第一ニ述ベマシタル實力豫斷ト云フコトハ、事實ニ於テ破レテ居リハセヌカト思フ、此點ニ於キマシテハ、第二回ノ司法官ノ試験ニ於ケル、成績ヲ他日諸君ガ調べタナラハ、思ヒ半バニ過グルモノガアツテ、直ニ大學卒業生ハ、私立學校卒業生即チ四大學出身者ヨリモ、力ニ於テ優ルト云フ斷案ハ此點ニ於テ崩シ得ヤウト思フ、是ハ私ハ委員會ニ於テ申シマスルガ、免モ角モ此場合サウ云フ數字ノ言葉テ申セバ、諸君ノ御叱リヲ蒙ルルカモ知レナイカラ私ハ除キマス、除キマスガ、免ニ角實力ガ優ツテ居ルト云フ豫斷ハ、崩レテ居ルト云フコトハ、此學術進歩ノ程度ニ於テ、著々事實ガ證明シテ居ルヲ云フ、於キマシテハ、私ハ當時立法者ガ豫期シタモノテ、其儘維持スル必要ハナカラウト思フ、殊ニ新知識ヲ迎ヘル第二段ノ政策上ノ必要モ、是ハ其當時ニアツテハリマシタラウガ、今日ニ於テハ其必要ハナイ、即チ此試験ニ於テ志願フスル者ガ、年々需用ノ人員ニ數十倍シテ居ルノデゴザリマスレバ、是ノ如ク多數ノ受験者ノアルトキハ、其中ヨリ最モ良ヲラ選ブ方ガ私ハ宜カラウト思フ、唯今ノ如ク是ノ如ク志願者ガ、所要ノ人員ニ數倍シテ居ルニ拘ラス、尙帝國大學ノ卒業生ハ無試験デ、ドン／＼御入リナサイト云フ事柄ハ、結果ニ於テ私立學校生以下ノ力、即チ無能ノ者ガ司法部ニ往クヤウニナリハシナイカト云フコトヲ疑フ、此點ハ深く述べマセヌガ、此高等文官ノ任用ナサレ方ハ如何デゴザイマセウ、此點ニ於テハ無論四大學ノ出身者モ、大學ノ出身者モ、分タレテ居ラス、均シク同等ニ競争試験ヲ受ケサセル、其優等ナル者ヲ茲ニ摘拔スルノデアリマスカラ、免ニモ角ニモ、一ノ高等官ニ於テハ、試験ヲ受ケテ人材ヲ茲ニ得ルト云フノニ、同ジ高等官デアアル司法官ニ向テ、此選抜ノ方法ヲ執ラヌト云フノハ如何デアラウカ、私ハ何レニシマシテモ一ノ國家ノ要職ニ就クモノデゴザイマスレバ、固ヨリモツ有名ナル否ナ、才能ノ勝レテ居ル者ヲ用ユルコトハ、當然デアルト思フ、殊ニ司法權ノ保障ニ至リマシテハ、私ガ申述ベリモ、有數ナル人才ヲ選バナケレバナラヌト云フコトデアラウト思フ、是ガ私ガ本案ヲ提出シタ所以デアリマス、辯護士法ニ付キマシテハ、矢張此裁判所構成法ノ改正案ノ成立サレマシタル曉ニハ、是ト權衡ヲ得タイト云フ點カラ出シマシタノデ、要スルニ司法官ト云ヒ、辯護士ト云ヒ、共ニ司法權ノ下ニ働クノデ、其職掌ニ於テ高下ガナイカラ、裁判官ト同等ノ試験ヲ受ケルノガ至當ト思ヒマシテ、此案ヲ提出致シマシタ

○恆松隆慶君 本案ハ九名ノ委員、議長指名ニ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通、九名ノ委員議長指名ニ御異議アリマセヌカ

ザイマス、故ニ治水ニ關スル建議案ハ、滿場一致可決ヲ致シマシテ、本日ノ日程ノ第二十五、即チ利根川ニ關スル第二期ノ急務ヲ望ムト云フ方ノ建議案ハ、否決ニナリマシタノデアリマス、此段御報告ヲ申上ゲマス

(吉植庄) 郎君登壇

○吉植庄 郎君 此案ニ對スル委員長ノ報告ヲ全部賛成致シマス、賛成ヲ致シマスルニ付イテ、先刻委員長カラ此案ノ委員會ノ經過ニ付イテ、詳細ニ言フキニハ諸君ヲ倦マス故ニ、簡單ニ申ス申シマシタガ、イツモ建議案ナルモノハ、十分意思ヲ表明スルコトガ出來ヌヤウデ、イツモ御迴シナルノデアリマス、既ニ倦意致シタル議場ニ向テ、是ヲ言ハナケレバナラヌ、ソレ故ニ建議案ナルモノハ、多ク重キヲ議場ニモ置カレズ、又政府ニ於テモ、常ニ此建議案ニ重キヲ置カヌノデアリマス、ソレ故ニ此建議案委員會ニ於テ、大藏省所管政府委員ノ答辯ナルモノヲ段々玩味致シテ見マスルト云フ、此建議案可決スルニ於テハ、十分ニ強イ意味ヲ以テ建議案ヲ置カケレバナラヌ、之ガタメニ私ハ此本案賛成ノ理由ヲ、出來得ルだけ簡單ニ申上ゲタイト思ヒマス、大藏省政府委員ハ此委員會ニ於ケル、某議員ノ質問ニ答ヘテ言ヘルノニハ、戰時狀態ノ今ハ繼續ト看做スベキ、三十九年度ノ豫算アルカラシテ、治水費トシテ追加豫算ヲ提出スルコトハ困難デア、財源ハ到底應ズルコトガ出來ナイ故ニ、趣旨ハ賛成デアレドモ、直ニ實行スルコトガムツカシイ云々、更ニ又或議員ノ質問又ハ希望ニ對シテ、セメテ定額トシテ先年來極メテ居タコロノ、三百萬圓若クハ四百萬圓ト云フ定額ヲ、極メテ欲シト云フ御希望ニ對シテハ、イロ／＼滑脱ナル言葉ヲ以テ、脱ケテ居タルノデアリマス、段々追詰テ結局定額トシテ、治水費ヲ定ムルコト云フコトガ、大藏省モ保證致シマスルガ、三百萬圓内外ニ定メルカ、三百萬圓以上ト云フコトガ、今日ニ於テ直チニ計畫スルコトハ困難デア、唯定額ヲ定ムル意思ヲ持テ居ル云々、斯ク答ヘタル、是ガデス、ドウシテモ茲ニ本員ガ一言シテ置カケレバナラナイ理由アルノデア、諸君過日本案ヲ提出致シマスルキニ、私ハ極簡短ナル大體論ヲ諸君ニ申上ゲテ置クコトヲ御記憶デアラウト思フ、日本ノ天然ノ地勢及雨ノ非常ニ多イト云フコト、此ニツハ世界ノ大陸の諸國ニ於テハ、見ルコトノ出來ナイ水害ヲ持テ居タル云フ、特殊ノ事柄アルノデア、一年ニ日本ガ損害スルコトコロノ、四千萬圓以上アルノデアリマス、斯様ナル水害カラシテ、多クノ害ヲ國民ガ受ケルコト云フ國ハ、世界ニ於テ甚ダ少ナイノデア、之ガタメニハ特別ナル設計、特別ナル試驗、特別ナル計畫ト云フモノヲ十分ニシナケレバナラナイ國柄アルノデア、單純ニ是ハ行掛リノ問題デア、若クハ誰モ知ッタ問題デア、左様ナルケレドモ、此日本ニ於ケル水害ト云フ問題ハ、左様ナル淡泊ナル問題デア、左様ナル素人ノ分ル問題デア、ハナイノデアリマス、是ハ十分國土ニ於テ此國ヲ保存スル上ニ於テ、研究ヲ調査シナケレバナラナイ重大ナル案件アルノデア、(其通りト呼フ者アリ)此四千萬圓以上ノ損害、是ガドウ云フ程度ニ於テ増加シ來テ居ルコト申シマスレバ、十年間ニ於テ約二倍半水害ノ高ヲ増シ來テ居ルノデアリマス、即チ若シ今後十年ノ後ニ於テ、此二倍半ノ趨勢ヲ以テ、水害ガ進ムナラバ、殆ド一年ニ於テ一億圓以上ト云フ損害ノ高ニナルノデアリマス、諸君先刻來總理大臣ノ御演說ニ於テモ、此鐵道國有案ヲ遂行スルコト云フコトハ、大體ノ趣意ニ於テハ、今日ノ急務ハ國本ヲ涵養シテ、國ノ力ヲ充實セシムルニ在ル、是ガ鐵道國有法案ノ提出シタコロノ第一ノ理由デア、ト云フヤウニ、私ハ記憶致シテ居リマス、現在ニ於テ年々四千萬圓以上ノ損害ヲ現在見テ居ル、此水害ニ對シテ僅カニ其三百萬圓若クハ四百萬圓ノ金ヲ定額トシテ、極メルコトスラモ、議員ノ追窮又追窮ニ逢ウテ、大藏省ノ政府委員ガ漸ク此事ヲ誓言スルコト云フガ如キコトハ、抑治水ト云フコトガ、國家ニ如何ナル關係ヲ持テ居ルカラ知サヌ故デア、是ヲ知テ

居レバ、斯様ナル不親切ナル豫算ノアルベキ苦ハナイノデアリマス、此全體ガデス、先刻荻野君カラシテ大藏省ノ政府委員ニ向テ、質問ヲナサレタコトガザイマス、羽二重ノ間、題ニ付イテ質問ヲ致シマシタケレドモ、由來此各省ニ於テ要求スルコトコロノ豫算ニ對シテ從來大藏省ハデス、極メテ冷カト云ハノヨリハ、寧ろ冷酷ナル頭ヲ以テ、此豫算ノ削減ヲ試ムルノデア、(簡短キヤ)ト呼フ者アリ)是ハ國ノ豫算ノ上ニ大層關係アル問題デア、ルカラ、モウ少シ御聽テ願ヒタイ(謹聽キヤ)モウ一時問程宜シト呼フ者アリ)一時問許シテ呉レ、バ誠ニ有難イ、此事ハ獨リ治水ノ問題ニ付イテ言フバカリデハ、ゴザイマス、既ニ本年ノ豫算ノ如キハ、本院ニ於テ滿場ノ滿場ハナ、大多數ヲ以テ通過シテ居ルノデアリマスカラ、翻テ此通過致シタル豫算ノ上ニ於テ、批評ヲ試ムルト云フコトハ、甚ダ如何ハシイコトデアリマスケレドモ、此本年ノ如キ戰時ノ狀態ヲ繼續スルコトノ、三十九年度ノ豫算アルコト、政府ノ明言スル場合ニモ拘ハラズシテ、各省ノ豫算ヲ通覽致シテ見マスルト、農商務省ノ所管ニ於キマシテハ、前年度ヨリ増スコト八十八萬圓、臨時部ニ於テ三百三十萬圓、又遞信省ニ於キマシテハ、經常費ガ百十五萬圓、臨時部ニ於テ千五百萬圓増シテ居リマス、是等ノ増加ト云フモノヲ仔細ニ考ヘテ見マスルコト云フ、決シテ是ハ水害ノ如キ一日モ拾遺クコトノ出來ナイ、一年ノ四千萬圓、損ヲシテ居ル仕事ノ如ク急ナルモノハ、此中ニハナイノデアリマス、是ガ即チ大藏省ガ由來各省ノ豫算ニ對シテハ、常ニ刀筆的ノ頭ヲ以テ、刀筆ノ役人ノ頭ヲ以テ、サウシテ此豫算ノ大體ト云フモノ、上ニ於テハ、經世のノ眼識ト此生産業ヲ發達セシムル所以ノ緩急ト云フモノ、上ニ付イテ、深ク思フ致サル證據アルノデアリマス、此事柄ハ勿論獨リ大藏省ガ此責ヲ負フバカリデナイ、内閣ガ責ヲ負フノデアリマセウ、内閣ニ於テ各省ノ平均ヲ取テ、サウシテ按排アルニハ相違アリマセウ、併シ内閣ノ會議ニ於テ、左様ナル些末ノ事マデハ問題ニナルマイト思フ、要スルニ大藏省ニ於キマシテ、此按排ヲ重シズルノデアリマスルガ故、此按排ガ果シテ正シキヲ得ルヤ否ヤ、各省平均ヲ得ルヤ否ヤ、是事考ヘナケレバナラヌ問題デアリマス、斯様ニ一年ニ四千萬圓以上ノ損害、十年ニ二倍半ヲ増スルコト、此水害ニ對シテ、僅カニ三百萬圓ト云フガ如キモノハ、固ヨリハ彌縫ノ彌縫、萬已ムヲ得ザル要求デア、アルノデアリマス、吾々ガ此案ヲ提出致シマシテ、三百萬圓ヲ要求スル所以ノモノハ、最モ切詰メル最モ我慢ノ出來ナイ、程度ノ低イモノヲ以テ要求シテ居ルニモ拘ハラズ、是スラモ極メテ冷淡ニ考ヘテ、定額ヲ極メル位ノコトハシテ宜イケレドモ、金ガ足ラヌト云フ、單純ナ左様ナル頭ヲ以テ居ル當局者ニ、此治水ト云フコトヲ將來御任セサルノ實ニ危險デア、デ此羽二重ノ大問題ノ如キ、實ニ日本ノ生産業ニ大關係アル有スル大問題ニ對シテモ、一收稅官吏ガ單ニ自分ノ法律見解ヲメ、國ノ生産事業ニ大關係アル有スル問題ヲ考ヘナイト同ジコトデ、大藏省ノ當局者ナルモノハ、國ノ生産事業ニ大關係アル有スル問題ヲ、單ニ死シタ數字ヲ數ヘテ、唯は何割減ラス、金ガ足ラヌト云フヤウナル冷淡ナル頭デ、最モ生産ニ關係アルコトコロ、治水ノ事業ヲ見ルガ如キニ至テハ、甚ダ前途ニ於テ氣遣ハシイコトデアリマス、此點ニ於テ深ク政府當局者ハ御考ノ上、例ヘバ本年度ニ於テ、豫算ノ提出ガ出來ナケレバ、ソレヲ強テ言フノデア、次ノ議會ニ於テモ、能ク各省ノ平均ヲ失ハナイヤウニ、此仕事ニ對シテ三百萬圓ハ四百萬圓ノ經常費ト云フ御考デハ、大間違デア、成ルベク多額ノ經費ヲ出シテ、十分ノ安心ヲ國民ニ與ヘテ、生産業ヲ發達セシメルヤウニ、御計畫ニナルノガ相當ト思ヒマス、是ガケノ事ヲ茲ニ加ヘテ、本案ヲ賛成シテ置キマス

(採決キヤ)ト呼フ者アリ

[illegible]

○恆松隆慶君 日程二十八、二十九ハ一括シテ議題ニ供シタイ、最早出席議員ノ如何モ考ヘナケレバナラヌカラ、ドウカ提出者ノ説明ハ略シテ、直チニ各案ニ付イテ、議長指名九名ノ委員ニ附託スルコトノ動議ヲ提出シマス

(賛成々々)ノ聲起ル

○議長(杉田定一君) 二十八、二十九ハ一括シテ議題トシテ、御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、日程第二十八、二十九ヲ議題ニ供シマス、議案ノ朗讀ハ省略シマス

第二十八 日韓兩國ノ關稅ニ關スル建議案(早速整爾君外 五名提出)

日韓兩國ノ關稅ニ關スル建議案
日韓兩國通商ノ利便ヲ圖リテ經濟上ノ一大發展ヲ策スルハ刻下ノ急務タリ而シテ又韓國指導ノ任務ヲ完クスルニ於テ缺クヘカラサルノ要道トス兩國ノ通商ハ年次大ニ増進セルヲ見ルト雖其ノ間關稅制度ノ存スルアリテ經濟共通ノ一大障礙ヲ築キ通商ノ不便ナカラス從テ韓國經營ノ途ヲ妨クルコト大ナリ
政府ハ相當ノ施設ヲ爲シ在來ノ關稅制度ヲ撤廢シ依リテ以テ經濟上ノ一大發展ヲ策セムコトヲ望ム
右建議ス

第二十九 日清銀行設立ニ關スル建議案(根津嘉一郎君外 二名提出)

日清銀行設立ニ關スル建議案
日清兩國カ政治上經濟上至大ノ關係ヲ有スルコトハ辯ヲ要セス而シテ此ノ關係ハ今次ノ戰役以後特ニ一層密接ヲ加ヘタリ此ノ時當リ日清共同ノ金融機關ヲ設ケテ彼我資本ノ共通ヲ圖ルハ時機ニ於テ極メテ適當ナルノミナラス相互ノ利源ヲ開發シ一般商工業ノ發達ニ最緊要トス加フルニ資本ノ共通ハ利害ノ共通トナリ利害ノ共通ハ更ニ兩者ノ經濟的關係ヲ密接ナラシメ其ノ結果ハ延テ之ヲ政治的關係ニ及ホシ兩々相持ツテ愈彼我ノ國民民福ヲ増進スヘキハ固ヨリ疑ヲ容レズ此ニ於テカ露獨英ノ諸國ハ夙ニ此ノ點ニ著眼シテ或ハ露清銀行ト云ヒ或ハ露亞銀行ト云ヒ或ハ香上銀行ト云ヒ何レモ皆清國內ニ於ケル各種事業經營ノ爲ニ相當ノ機關ヲ有セサルナシ依リテ我カ政府モ亦之カ設立ノ急務ヲ認メ現ニ去ル三十五年日清銀行法案ヲ第十七回議會ニ提出シタリ然ルニ不幸ニシテ同期議會ハ間モナク解散ノ爲ニ其ノ成立ヲ見ルニ至ラス爾後日露間ノ風雲漸ク急ナルモノアリ次テ開戰ニ至リシヲ以テ國家多事ノ爲再ヒ之カ提出ヲ見サルハ甚遺憾ノ至ニシテ今日清國ノ資本ヲ吸收シテ我カ内國ノ事業ニ資シ或ハ清國內ニ於ケル各種事業ノ爲ニ特殊ノ金融機關ヲ設クルノ必要ハ殆ト嗽々ヲ要セサル所寧ロ其ノ時機既ニ後レタルノ感ナクムハアラス今ヤ平和ノ克復ト共ニ兩國内ニ於ケル各種ノ事業勃興セムトスルノ時一日ヲ緩フスレハ一日ノ不利アリ政府ハ速ニ當期議會ニ於テ之カ法律案ヲ提出セムコトヲ望ム
右建議ス

○恆松隆慶君 各案ニ付イテ九名ノ委員、議長指名トセラレンコトヲ望ミマス
○議長(杉田定一君) 恆松君ノ發議長指名議九名ノ委員ニ附託スルコトニシテ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス 報告ガアリマス

(書記朗讀)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

催眠術取締ニ關スル建議案

提出者 安藤新太郎君

提出者 佐竹作太郎君

提出者 丹後直平君

提出者 齋藤良輔君

提出者 大繩久雄君

提出者 美禰龍彦君

提出者 板東勘五郎君

提出者 關野善次郎君

提出者 小河源一君

提出者 藤金作君

提出者 石川清君

提出者 石田幸吉君

提出者 向坂弘君

提出者 鐵道線路調査費ニ關スル建議案

提出者 佐竹作太郎君

提出者 藤金作君

提出者 皇上禮拜所設立ニ關スル建議案

提出者 武市庫太君

提出者 新聞紙條例中改正法律案

提出者 横井時雄君

提出者 合田福太郎君

提出者 質屋取締法中改正法律案

提出者 藤崎朋之君

提出者 體育ニ關スル建議案

提出者 星野仙藏君

提出者 大津淳一郎君

提出者 福井三郎君

○議長(杉田定一君) 明後日ノ日程及委員ハ、追テ公報ヲ以テ御知ラセ申シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時二十四分散會

山根 正次君

奥野 市次郎君

上野 彌一郎君

佐藤 伊助君

鳥海 哲四郎君

石井 信君

田中 定吉君

川真田德三郎君

木下謙次郎君

坂元 英俊君

萩野 左門君

初木 卿太郎君

三輪 傳七君

上埜 安太郎君

奥野 市次郎君

恆松 隆慶君

内藤 利八君

早速 整爾君

荒川 五郎君

淺野 陽吉君

奥村 善右衛門君

神崎 東藏君

須見 千次郎君

大淵 龍太郎君

大熊 三之助君

横田 虎彦君

關口 安太郎君

廣田 虎彦君

須見 千次郎君

大淵 龍太郎君

大熊 三之助君

横田 虎彦君

關口 安太郎君

廣田 虎彦君

須見 千次郎君

大淵 龍太郎君

大熊 三之助君

